

公益社団法人
日本学生陸上競技連合 会報

向上と進展



[発行所] 公益社団法人 日本学生陸上競技連合
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階
TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

新年のご挨拶

会長 松本 正之

皆様には、お元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、公益社団法人日本学生陸上競技連合に対し格別のご理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨年は、9月に東京世界選手権が開催され、日本学生陸上界からは9名の選手が日本代表として選出されました。そして、国立競技場が満員の観客に埋め尽くされ、熱気と興奮に包まれた様子は、改めて陸上競技の素晴らしさを再確認する大会でありました。

2025日本学生陸上競技個人選手権大会は、FISUワールドユニバーシティゲームズ(2025/ライン・ルール)の日本代表選考競技会として開催し、日本学生陸上界のトップ選手たちによるハイレベルな戦いが繰り広げられました。そして、その熾烈な代表選考を勝ち抜いた選手たちが出場したFISUワールドユニバーシティゲームズでは、金メダル5個、銀メダル3個、銅メダル3個と、前回の成都大会を上回る大変輝かしい結果を残しました。

そして、東京世界選手権との兼ね合いで6月に行われた天皇賜盃第94回日本学生陸上競技対校選手権大会は、実に66年ぶりとなる岡山県での開催となりました。3種目で日本学生新記録が樹立され、8種目14個もの大会新記録も生まれるなど、非常に盛り上がった大会となりました。対校戦では男子は順天堂大学が5年連続32度目の総合優勝、女子は筑波大学が立命館大学との接戦を制し、5年ぶり28度目の総合優勝を飾りました。

駅伝シーズンに入り、10月の第37回出雲全日本大学選抜駅伝競走では、國學院大学が連覇を達成し、3度

目の優勝を飾りました。「杜の都仙台」で行いました第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会では、熊の出没も懸念されましたが、レースは城西大学が最終6区で逆転し、25年ぶり3度目となる優勝を果たしました。そして、11月の伊勢路で開催いたしました秩父宮賜杯第57回全日本大学駅伝対校選手権大会では、駒澤大学が中盤から抜け出し、2年ぶり17度目の優勝を果たしました。

上記の大会を成功のうちに終了できましたのも、関係者の皆様のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

なお、2025年度内行事として、男子は2月、女子は3月に第29回日本学生ハーフマラソン選手権大会(男子:香川県丸亀市、女子:島根県松江市)、そして同じく3月に第20回日本学生競歩選手権大会(石川県能美市)の開催を予定しております。出場する競技者には、より一層の奮起を期待しております。

新年度は、4月に2026日本学生陸上競技個人選手権大会(神奈川県・平塚市)、9月に天皇賜盃第95回日本学生陸上競技対校選手権大会(神奈川県・横浜市)を開催いたします。一般財団法人神奈川陸上競技協会、一般社団法人関東学生陸上競技連盟をはじめとする関係各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新しい年を迎え、今年がさらに充実した年になるよう、学生競技者の全員の「向上」と「進展」を願うとともに、全ての大会の円滑な開催と運営について関係者の皆様の引き続き温かいご理解・ご指導をお願い申し上げます。 令和8年正月

公益社団法人 日本学生陸上競技連合 会報 第175号 (令和8年1月15日発行)

向上と進展

目次

新年のご挨拶	1
【大会報告】	
第37回出雲全日本大学選抜駅伝競走	3
第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会	6
秩父宮賜杯第57回全日本大学駅伝対校選手権大会	9
2025全日本大学女子選抜駅伝競走	12
【会議報告】	
2025年勲功章贈与式	15
第76回理事会 議事録	16
令和8年学生役員会議	28
【報告等】	
医事委員会より	29
普通会員数報告	30
賛助会員募集/入会報告/編集後記	31

【大会報告】

第37回出雲全日本大学選抜駅伝競走

幹事長 三浦 拓也

1. 大会名：第37回出雲全日本大学選抜駅伝競走

2. 大会期日：2025年10月13日(月)

3. 場所：鳥根・出雲市

出雲大社正面鳥居前～出雲ドーム前

4. エントリー数：21校・中国四国学連選抜

5. 大会総括

10月13日(月)、駅伝シーズンの幕開けとなる出雲全日本大学選抜駅伝競走が行われ、出雲大社正面鳥居前から出雲ドーム前までの全6区間45.1kmを全21チームが力強く駆け抜けました。今大会では、出雲駅伝が始まって以来、史上初の北信越地区から単独出場校が2校誕生し、信州大学と新潟大学が出雲路を沸かせました。この2校の他にも、九州地区から志學館大学が見事初出場を果たしました。また、オープン参加ではありますが、28回大会以来9年ぶりに中国四国学連選抜が編成されるなど、話題性に富んだ大会でありました。

優勝候補が多く上がる中で始まった今大会では1区からハイレベルな争いが繰り広げられました。前年度覇者である國學院大學は、2年連続で青木瑠都選手をスターターに指名し、2連覇を虎視眈々と狙います。他にも駒澤大は谷中晴選手、青山学院大は小河原陽琉選手を登録し、國學院大の2連覇を阻止するべく包囲網を敷きます。

レースでは、スタート直後から谷中選手と東京国際大の菅野裕二郎選手、東洋大の松井海斗選手が積極的に集団を牽引します。5km付近で中央大の岡田開成選手が集団の前に飛び出し、ペースが速くなります。直後、青木選手がスパートをかけ、集団がばらけ始め、岡田選手、アイビーリーグ選抜のベンジャミン・ローザ選手、帝京大の楠岡由浩選手、谷中選手が反応し、トップ争いを繰り広げます。7km過ぎに岡田選手が一気にスパートをかけ、区間賞の走りですすきを渡しました。2秒差で駒澤大、8秒差で帝京大と続いていきました。

2区では、早稲田大の山口智規選手が衝撃の走りを見せます。10位ですすきをもらった山口選手は快調に飛ばし、3km付近では、前を行く創価大、帝京大、中

央大の2位集団に追いつき、4.7km付近ではトップを走る駒澤大の帰山侑大選手を捕らえます。その後、5km過ぎには帰山選手を置き去りにし、山口選手は9人抜きの快走で見事に区間賞を獲得し、トップで中継しました。

3区では、スタート直後から早稲田大の鈴木琉胤選手と駒澤大の桑田駿介選手が首位争いを演じます。その後方では、創価大のステイーブン・ムチーニ選手、國學院大の野中恒亨選手、城西大のヴィクター・キムタイ選手、アイビーリーグ選抜のグラハム・ブランクス選手の4選手が3位集団を形成し、1位集団の猛追を開始します。4km付近では、鈴木選手が桑田選手を振り切り、単独首位に躍り出ます。5km付近では、3位集団の4選手が2位を走る駒澤大を捕らえ、5人の2位集団となりました。8kmを過ぎると鈴木選手にキムタイ選手が追いつき、激しいスパート合戦の末、キムタイ選手が3年連続の区間賞でトップ中継。5秒差の2位で國學院大、終始首位を走った早稲田大は3位で次区間にタスキをつなぎました。

4区では前年度覇者の國學院大が待望の首位に立ち、独走態勢に入ります。5秒差でタスキを受けた辻原輝選手が快調に飛ばし、スタート直後に城西大を抜き去り、後ろを追う早稲田大の追従を許さない走りを披露しました。結果的に早稲田大には23秒の差をつける区間新記録の走りで、2連覇への流れを手繰り寄せました。

國學院大は5区でも高山豪起選手がさらに後続との差を広げ、トップを守って最終区へタスキをつなぎました。2位にはアイビーリーグ選抜が浮上し、3位に早稲田大、4位に創価大、5位に城西大と続き、この時点で2位から5位までの差が30秒と、上位争いは混沌としてきました。後方では、ここまで下位に沈んでいた青山学院大の塩出翔太選手が区間賞の走りで意地を見せ、主将が待つ6区へタスキをつなぎました。

最終区間6区では、國學院大は上原琉翔選手が危なげない走りを見せ、首位を死守します。後方では、3位ですすきを受けた早稲田大の工藤慎作選手が前

を行くアイビーリーグ選抜をかわし、2位へ押し上げます。首位をひた走る上原選手に対しても、見事な猛追を見せ、中継所では43秒あった差を6 km 地点では20秒差まで詰め、優勝争いもまだまだわからない状況となります。前半をかなりのハイペースで押した工藤選手とは反対に上原選手は、前半はじっくり抑え、後半にスパートをかけるかたちで、猛追を見せた工藤選手との差を広げにかかります。そのスパートの勢いのまま、後続の追い上げを許さずフィニッシュテープを切り、見事に2連覇、3回目の優勝を果たしました。2位には見事な猛追を見せた早稲田大、3位にはラスト1 kmでアイビーリーグ選抜を逆転した創価大が入りました。区間賞はチームとしては7位に沈んだものの、意地の3人抜き走りでの主将としてのプライドを示し

た青山学院大の黒田朝日選手が獲得しました。

今年度も無事に大会を開催することが出来ましたのも、主催の出雲市、今大会よりご協賛いただいている前田道路株式会社、ご協力いただいている出雲全日本大学選抜駅伝競走組織委員会をはじめとする、多くの方々のご支援ご協力があったことと深く感謝申し上げます。

来年度からは、現状迂回コースとなっているスタート直後の大鳥居付近の工事事も終了予定であり、久しぶりに完全体での出雲駅伝が開催される予定です。次大会におきましても素晴らしい大会となるよう、日々邁進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



2時間9分12秒で2連覇のVテープを切った國學院大のアンカー・上原琉翔

國學院大は4区・辻原輝(左)が区間新記録の快走を見せ、トップに浮上。5区・高山豪起で首位固めと盤石の継走をみせた



早稲田大が2時間9分50秒で2位。写真は2区で9人抜きを演じた山口智規

全員が区間5位以内でまとめた創価大は、4位でタスキを受けたアンカー・野沢悠真が3位に順位を上げた



駒澤大は1区・谷中晴(左)が2位と好発進し、2区・湯山侑大も区間2位と好走。しかし、中盤区間で流れを失って5位だった



中盤区間で苦しんだ青山学院大は5区・塩出翔太、アンカー・黒田朝日の連続区間賞で7位と入賞は確保



1区区間賞に輝いた中央大の岡田開成。チームは10位にとどまる

4 大会報告

第37回出雲全日本大学選抜駅伝競走 成績

上段=総合成績
下段=区間成績

チーム名	1区 (8.0km)	2区 (5.8km)	3区 (8.5km)	4区 (6.2km)	5区 (6.4km)	6区 (10.2km)	総合成績 (45.1km)
①國學院大学	青木 瑠郁(4) (5) 23.42 (5) 23.42	尾熊 迅斗(2) (5) 40.12 (6) 16.30	野中 恒亨(3) (2) 1.04.01 (2) 23.49	辻原 輝(3) (1) 1.21.21 (1) ●17.20	高山 豪起(4) (1) 1.39.19 (2) 17.58	上原 琉翔(4) (1) 2.09.12 (4) 29.53	2.09.12
②早稲田大学	吉倉ナヤブ直希(2) (10) 23.51 (10) 23.51	山口 智規(4) (1) 39.48 (1) 15.57	鈴木 琉胤(1) (3) 1.04.04 (5) 24.16	佐々木 哲(1) (2) 1.21.44 (6) 17.40	堀野 正太(1) (3) 1.40.02 (7) 18.18	工藤 慎作(3) (2) 2.09.50 (3) 29.48	2.09.50
③創価大学	織橋 巧(3) (4) 23.41 (4) 23.41	小池 莉希(3) (3) 40.09 (4) 16.28	S.ムチーニ(3) (6) 1.04.25 (5) 24.16	石丸 惇那(4) (5) 1.21.57 (3) 17.32	山口 翔輝(2) (4) 1.40.06 (4) 18.09	野沢 悠真(4) (3) 2.10.05 (5) 29.59	2.10.05
④アイビーリーグ選抜	B.ローザ (ハーバード大) (9) 23.49 (9) 23.49	A.アイバーソン (ハーバード大) (6) 40.14 (3) 16.25	G.ブランクス (ハーバード大) (4) 1.04.13 (4) 23.59	T.バーグ (コロンビア大) (3) 1.21.48 (4) 17.35	D.アミコン (コーネル大) (2) 1.39.58 (5) 18.10	J.ローレンス (ダートマス大) (4) 2.10.12 (8) 30.14	2.10.12
⑤駒澤大学	谷中 晴(2) (2) 23.30 (2) 23.30	婦山 侑大(4) (2) 39.53 (2) 16.23	桑田 駿介(2) (7) 1.04.58 (9) 25.05	伊藤 蒼唯(4) (6) 1.22.27 (2) 17.29	菅谷 希弥(2) (6) 1.40.49 (8) 18.22	山川 拓馬(4) (5) 2.10.27 (2) 29.38	2.10.27
⑥城西大学	柴田 侑(3) (7) 23.47 (7) 23.47	小林 竜輝(2) (7) 40.16 (5) 16.29	V.キムタイ(4) (1) 1.03.56 (1) 23.40	小田 伊織(3) (4) 1.21.49 (9) 17.53	大沼良太郎(4) (5) 1.40.28 (10) 18.39	斎藤 将也(4) (6) 2.10.41 (7) 30.13	2.10.41
⑦青山学院大学	小河原陽琉(2) (6) 23.46 (6) 23.46	折田 壮太(2) (11) 40.42 (10) 16.56	飯田 翔大(2) (11) 1.05.59 (10) 25.17	神邑 亮佑(1) (11) 1.23.43 (8) 17.44	塩田 翔太(4) (10) 1.41.37 (1) 17.54	黒田 朝日(4) (7) 2.10.52 (1) 29.15	2.10.52
⑧帝京大学	楠岡 由浩(3) (3) 23.36 (3) 23.36	島田 晃希(4) (4) 40.09 (7) 16.33	小林 咲河(2) (8) 1.05.27 (11) 25.18	原 悠太(3) (8) 1.23.06 (5) 17.39	鎗田 大輝(4) (8) 1.41.18 (6) 18.12	谷口 颯太(3) (8) 2.11.32 (8) 30.14	2.11.32
⑨東洋大学	松井 海斗(2) (11) 23.51 (11) 23.51	内堀 勇(2) (9) 40.33 (9) 16.42	迎 暖人(2) (9) 1.05.29 (8) 24.56	濱中 尊(3) (10) 1.23.32 (10) 18.03	馬場アンジェロ光(2) (11) 1.42.00 (9) 18.28	宮崎 優(2) (9) 2.12.06 (6) 30.06	2.12.06
⑩中央大学	岡田 開成(2) (1) 23.28 (1) 23.28	濱口 大和(1) (10) 40.41 (11) 17.13	溜池 一太(4) (10) 1.05.31 (7) 24.50	吉居 駿恭(4) (9) 1.23.14 (7) 17.43	佐藤 大介(2) (9) 1.41.21 (3) 18.07	本間 颯(3) (10) 2.12.43 (10) 31.22	2.12.43
⑪東京国際大学	菅野裕二郎(4) (8) 23.48 (8) 23.48	小柴裕士郎(2) (8) 40.29 (8) 16.41	R.エティーリ(3) (5) 1.04.23 (3) 23.54	中山 拓真(4) (7) 1.22.33 (11) 18.10	久保 遼人(3) (7) 1.41.18 (11) 18.45	川内 琉生(4) (11) 2.16.33 (22) 35.15	2.16.33
⑫関西大学	谷村 恒晟(4) (15) 24.25 (15) 24.25	平野 圭人(3) (14) 41.52 (13) 17.27	芝 秀介(4) (14) 1.08.11 (14) 26.19	井手 蒼人(3) (14) 1.26.36 (13) 18.25	高村 瑛太(2) (14) 1.46.21 (20) 19.45	秋山翔太郎(4) (12) 2.18.06 (13) 31.45	2.18.06
⑬札幌学院大学	西塚 璃純(4) (17) 24.41 (17) 24.41	K.ケネス(1) (16) 42.19 (16) 17.38	山田 陽翔(4) (16) 1.09.08 (18) 26.49	早川 拓海(4) (15) 1.27.52 (17) 18.44	栗田 紳将(3) (15) 1.46.57 (13) 19.05	伊藤 徹(4) (13) 2.18.24 (11) 31.27	2.18.24
⑭信州大学	片岡 晴哉(2) (14) 24.19 (14) 24.19	森田 克馬(4) (13) 41.52 (15) 17.33	松林 直亮(M2) (12) 1.07.23 (12) 25.31	尾崎 康佑(4) (13) 1.26.03 (15) 18.40	佐藤 匠(4) (13) 1.45.47 (19) 19.44	内田 善登(3) (14) 2.18.39 (17) 32.52	2.18.39
⑮志學館大学	中村 晃斗(3) (13) 24.01 (13) 24.01	小田 夕琥(2) (15) 42.03 (19) 18.02	齊藤 莉樹(2) (15) 1.08.30 (16) 26.27	大平 倫嗣(1) (16) 1.28.04 (20) 19.34	日野 拓夢(2) (16) 1.47.28 (15) 19.24	辻田 鉄人(2) (15) 2.19.31 (14) 32.03	2.19.31
⑯環太平洋大学	山本 涼介(4) (12) 23.58 (12) 23.58	松下 俊海(2) (12) 41.18 (12) 17.20	谷末 智哉(4) (13) 1.07.44 (15) 26.26	高嶋 莊太(4) (12) 1.26.03 (12) 18.19	本岡 春穂(2) (12) 1.45.34 (16) 19.31	角南 祐行(1) (16) 2.19.58 (20) 34.24	2.19.58
⑰皇學館大学	曾越 祐志(2) (20) 25.27 (21) 25.27	清水 大斗(2) (19) 42.57 (14) 17.30	前野 皓士(3) (18) 1.10.15 (20) 27.18	塩見 昊瑛(2) (17) 1.28.57 (16) 18.42	松葉琥太郎(1) (18) 1.48.34 (18) 19.37	新岡 圭(3) (17) 2.20.08 (12) 31.34	2.20.08
⑱京都産業大学	栗田 大樹(4) (18) 25.03 (19) 25.03	松原幸之助(2) (18) 42.41 (16) 17.38	武内 里賢(4) (19) 1.10.45 (21) 28.04	藤田 大輝(3) (18) 1.29.21 (14) 18.36	西村 稜太(4) (17) 1.48.30 (14) 19.09	竹村 明人(2) (18) 2.21.12 (16) 32.42	2.21.12
⑲新潟大学	中戸 元貴(4) (16) 24.34 (16) 24.34	志賀 風太(M2) (17) 42.29 (18) 17.55	金子 敦哉(4) (17) 1.09.14 (17) 26.45	遠藤 皓大(3) (19) 1.29.28 (22) 20.14	小木曾翔太(2) (19) 1.49.03 (17) 19.35	谷端 良鷹(M1) (19) 2.22.22 (18) 33.19	2.22.22
⑳東北学連選抜	萩川 眺(2) (東北学院大) (19) 25.20 (20) 25.20	近江 周(M1) (山形大) (20) 43.46 (21) 18.26	吉田 奏斗(3) (東北学院大) (20) 1.10.46 (19) 27.00	千葉 航太(4) (東北大) (20) 1.30.00 (18) 19.14	齋藤 颯希(4) (東北学院大) (20) 1.50.11 (21) 20.11	岡田 卓(5) (弘前大) (20) 2.22.37 (15) 32.26	2.22.37
㉑北海道大学	奥村 日向(D1) (21) 25.45 (22) 25.45	大野 憲尚(4) (21) 44.17 (22) 18.32	大久保伸一(3) (21) 1.12.46 (22) 28.29	竹中 順思(4) (21) 1.32.32 (21) 19.46	米井太位鷹(2) (21) 1.53.09 (22) 20.37	秋野 僚太(D1) (21) 2.28.15 (21) 35.06	2.28.15
中国四国学連選抜	東 秀太(4) (広島経済大) (18) 24.53	南 凱士(4) (広島大) (20) 43.01 (20) 18.08	赤澤 京弥(4) (岡山大) (13) 1.09.03 (13) 26.02	橋本 怜弥(4) (福山平成大) (19) 1.28.29 (19) 19.26	木戸 颯(3) (岡山大) (12) 1.47.33 (12) 19.04	小川 晴也(4) (広島経済大) (19) 2.21.00 (19) 33.27	2.21.00
過去最高記録	K.ジュグナ (第一工業大学) 22.30(09年)	佐藤 圭汰 (駒澤大学) 15.27(22年)	P.ムルワ (創価大学) 23.36(22年)	神林 勇太 (青山学院大学) 17.24(19年)	安藤 悠哉 (青山学院大学) 17.43(16年)	G.ダニエル (日本大学) 28.17(09年)	駒澤大学 2.07.51 (2023年)

【大会報告】

第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会

常任幹事 村上 奈穂

1. 大会名：第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会
2. 期 日：2025年10月26日(日)
3. 場 所：宮城・仙台市
弘進ゴムアスリートパーク仙台
4. エントリー数：25校・東北学連選抜チーム(OP)
計26チーム
5. 大会総括

2025年10月26日(日)に「杜の都」として知られる宮城県仙台市にて第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会が開催されました。前回大会の上位8校、各地区学連代表の14校、チーム内5000m上位5名の記録によって選出された3校、さらにオープン参加の東北学連選抜を加えた計26チームが、各校の誇りを胸に仙台の地を走り抜けました。前回大会では、名城大学の8連覇に立命館大学が待ったをかけましたが、今回その連覇を阻んだのは城西大学でした。

レースの序盤となる1区では、5000m日本人トップの自己ベストを持つ名城大の細見芽生選手が先頭に立ってレースを牽引しましたが、5kmを過ぎたあたりで後退する展開となりました。先頭集団が絞られたのち、城西大の本間香選手が1年生ながら区間新記録ペースの積極的な走りで抜け出し、立命館大の太田咲雪選手らの粘り強い追走を振り切ってそのまま区間新記録を樹立しました。

続く2区では、本間選手から先頭でタスキを受けた城西大の兼子心晴選手が、1区の勢いを保ったままこちらも区間新記録の快走で3区へとタスキをつなぎました。

3区では、地元・仙台から出場した東北福祉大の佐々木菜月選手が、優勝候補に挙がっていた大東文化大と立命館大の両校を区間新記録の走りで抜き、チームを2位へ押し上げます。さらに東北福祉大は4区でも早坂優選手が区間賞を獲得し、仙台の観客を大いに沸かせる快走を見せました。

4区終了時点でレースは城西大が独走する状況が続いていましたが、5区で大東文化大のサラ・ワン

ジル選手が区間賞の走りで城西大を逆転し、トップに浮上しました。大東文化大は最終6区にワンジル選手と並ぶエースの野田真理耶選手が控えており、長年の悲願である優勝がついに達成されるのではないかとというムードが高まりました。

しかし最終6区では、城西大のキャプテンである金子陽向選手が区間新記録ペースで猛追し、残り1kmの地点で大東文化大を逆転しました。そのままフィニッシュまで走り切った城西大は25年ぶりの優勝を果たし、大会記録も更新する快挙を果たしました。

大東文化大も最後まで粘り強いレースを展開しましたが、惜しくも11度目の2位となりました。名城大は、アンカー・村岡美玖選手が区間新記録の力走を見せて3位に入り、女王復活の兆しを予感させる継走でした。東北福祉大は前回更新した大学歴代最高順位をさらに上回る4位でフィニッシュし、前回優勝校である立命館大は5位、大阪学院大は3年連続で6位、筑波大が7位、そして福岡大が11年ぶりに8位へ返り咲く結果となりました。今大会は、まさに女子駅伝界に戦国時代が訪れたといっても過言ではないほど、各校が実力をぶつけ合う見応えのあるレースとなりました。

本大会の上位12校は、2025年12月30日(火)に静岡県富士宮市～同富士市にて開催される2025全日本大学女子選抜駅伝競走の出場権を獲得しました。

今大会を無事に開催することができましたのも、主催の読売新聞社、共催の仙台市、特別協賛のスターグループ、ご協賛いただいている関係各社、運営協力の東北学生陸上競技連盟、宮城陸上競技協会、仙台市スポーツ振興事業団をはじめとする関係各位のご支援、ご協力があったることと、深く感謝しております。来年度以降も出場選手、運営側、観客の方々をはじめ、関わる皆様に愛される大会を作っていけるよう精進してまいります。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



逆転で25年ぶり優勝のフィニッシュテープを切った城西大のアンカー・金子陽向

城西大は1区の1年生・本間香(右)、2区の4年生・兼心心晴の連続区間新&区間賞で一気に流れをつかんだことも大きな勝因



3年連続11度目の2位となった大東文化大だが、5区でサラ・ワンジル(左)が首位に立ち、最終中継所を初めてトップ通過するなど悲願の初優勝へあと一歩まで迫った



前回4位で8連覇を逃した名城大は3位を確保してトップスリーに復帰。写真は区間2位の力走で4位から1つ順位を上げたアンカー・村岡美玖



過去最高の4位に躍進した東北福祉大。3区区間新の佐々木菜月(右)と4区・早坂優の連続区間賞などで一時トップに迫るシーンもあった



前回Vの立命大は5位で連覇ならず。写真は最長5区を区間2位と力走した主将・土屋舞琴



連続シードを12に伸ばした大阪学大。1年生アンカー・古澤由奈が2人抜きで3年連続の6位に押し上げた



7位の筑波大は、12年ぶりシード権獲得だった前回(8位)から2年連続入賞。写真は3区・鈴木美海



最多タイ37回目の出場を誇る福岡大が11年ぶりシード返り咲きとなる8位を占めた。写真は2区・前田穂乃香(右)から3区・谷門光莉へのタスキ渡し

第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 成績

上段=通過タイム
下段=区間タイム
●=大会新、区間新

チーム名	1区 (6.6km)	2区 (4.0km)	3区 (5.8km)	4区 (4.8km)	5区 (9.2km)	6区 (7.6km)	総合成績 (38.0km)
①城西大学	本間 香(1) (1) 20.53 (1) ●20.53	兼子 心晴(4) (1) 33.31 (1) ●12.38	大西 由菜(1) (1) 52.04 (3) ●18.33	石川 母(3) (1) 1.07.56 (2) 15.52	本澤 美桜(2) (3) 1.38.53 (11) 30.57	金子 陽向(4) (1) 2.03.28 (1) ●24.35	2.03.28
②大東文化大学	秋竹 凜音(1) (5) 21.04 (5) ●21.04	森 彩純(3) (4) 34.15 (8) 13.11	成瀬 結菜(1) (5) 52.57 (6) ●18.42	平尾 暁絵(3) (4) 1.09.11 (4) 16.14	S.ファンジル(3) (1) 1.37.36 (1) 28.25	野田真理耶(3) (2) 2.03.44 (15) 26.08	2.03.44
③名城大学	細見 芽生(1) (8) 21.29 (8) 21.29	大河原萌花(4) (6) 34.19 (2) 12.50	米澤奈々香(4) (4) 52.45 (2) ●18.26	石松愛朱加(4) (3) 1.08.45 (3) 16.00	橋本 和叶(1) (4) 1.39.06 (5) 30.21	村岡 美玖(3) (3) 2.03.50 (2) ●24.44	2.03.50
④東北福祉大学	中野 芽衣(2) (3) 20.58 (3) ●20.58	村上 果蓮(2) (5) 34.18 (11) 13.20	佐々木菜月(3) (2) 52.32 (1) ●18.14	早坂 優(2) (2) 1.08.16 (1) 15.44	村山愛美沙(3) (2) 1.38.24 (4) 30.08	小林日香莉(3) (4) 2.04.02 (5) 25.38	2.04.02
⑤立命館大学	太田 咲雪(3) (2) 20.55 (2) ●20.55	佐藤 ゆあ(1) (2) 33.58 (3) 13.03	山本 柚未(2) (3) 52.33 (4) ●18.35	森安 桃風(2) (5) 1.09.20 (13) 16.47	土屋 舞琴(4) (5) 1.39.06 (2) 29.46	池田 悠音(2) (5) 2.05.13 (14) 26.07	2.05.13
⑥大阪学院大学	山下 彩菜(4) (13) 21.56 (13) 21.56	北野 寧々(3) (9) 35.01 (4) 13.05	依田 采巳(3) (9) 54.23 (10) 19.22	佐内 瑞希(2) (7) 1.10.37 (4) 16.14	千葉 妃華(3) (8) 1.41.47 (12) 31.10	古澤 由奈(1) (6) 2.06.38 (3) 24.51	2.06.38
⑦筑波大学	小松 夕夏(4) (7) 21.27 (7) 21.27	田中 柚良(2) (8) 34.37 (6) 13.10	鈴木 美海(2) (6) 53.18 (5) ●18.41	近藤 陽菜(2) (6) 1.10.10 (16) 16.52	白井 瑠花(1) (7) 1.41.22 (13) 31.12	白川 朝陽(2) (7) 2.07.09 (7) 25.47	2.07.09
⑧福岡大学	福山 光(2) (6) 21.08 (6) ●21.08	前田穂乃香(3) (3) 34.14 (5) 13.06	谷門 光莉(2) (7) 53.55 (17) 19.41	平野 悠莉(1) (8) 1.10.37 (11) 16.42	宮原なな佳(4) (6) 1.41.00 (6) 30.23	平島 ゆゆ(4) (8) 2.07.16 (17) 26.16	2.07.16
⑨順天堂大学	白木 美樹(2) (12) 21.54 (12) 21.54	宮崎 彩湖(1) (11) 35.13 (9) 13.19	高橋ひより(3) (18) 55.26 (23) 20.13	引引 稚菜(4) (16) 1.11.58 (9) 16.32	田島 愛理(3) (9) 1.41.49 (3) 29.51	石上 栞理(3) (9) 2.07.37 (9) 25.48	2.07.37
⑩日本体育大学	柳井 桜子(4) (21) 22.33 (21) 22.33	佐藤 柚優(1) (18) 35.43 (6) 13.10	飯田 和代(2) (11) 54.37 (7) 18.54	高矢 光希(3) (11) 1.11.08 (8) 16.31	田中 希実(3) (11) 1.42.21 (14) 31.13	齋藤 一乃(2) (10) 2.08.06 (6) 25.45	2.08.06
⑪玉川大学	佐藤 彩乃(3) (10) 21.36 (10) 21.36	白石 憂佳(4) (10) 35.06 (13) 13.30	藤 陽由(2) (10) 54.28 (19) 19.22	西田 未羽(1) (10) 1.10.55 (7) 16.27	隅田 美羽(3) (10) 1.42.11 (15) 31.16	大木 志桜(2) (11) 2.08.14 (13) 26.03	2.08.14
⑫帝京科学大学	今西 紗世(1) (4) 21.04 (4) ●21.04	松島 夏希(1) (7) 34.37 (14) 13.33	村上 りの(2) (8) 54.06 (15) 19.29	渡邊 杏梨(1) (9) 1.10.50 (12) 16.44	粕谷 暁(2) (15) 1.42.47 (18) 31.57	渡辺 笑夏(4) (12) 2.08.20 (4) 25.33	2.08.20
⑬関西大学	市岡妃彩良(1) (17) 22.06 (17) 22.06	柘植 ゆり(1) (19) 35.53 (21) 13.47	岩本 風音(4) (15) 55.09 (8) 19.16	大西 友菜(2) (17) 1.11.59 (14) 16.50	前田 彩花(3) (13) 1.42.43 (8) 30.44	新山 心友(3) (13) 2.08.30 (7) 25.47	2.08.30
⑭拓殖大学	岩崎麻知子(3) (18) 22.06 (18) 22.06	山崎 凛(1) (16) 35.34 (12) 13.28	柿澤 りん(1) (17) 55.21 (18) 19.47	磯崎あゆみ(2) (15) 1.11.57 (10) 16.36	三宅 優姫(2) (14) 1.42.44 (9) 30.47	外間 結那(1) (14) 2.08.42 (11) 25.58	2.08.42
⑮大阪芸術大学	森田そよ香(1) (14) 21.57 (14) 21.57	菅崎 南花(4) (12) 35.16 (9) 13.19	青柳 朋花(4) (12) 54.44 (14) 19.28	大沼 乃愛(3) (12) 1.11.09 (6) 16.25	小倉 侑々(3) (12) 1.42.41 (17) 31.32	岩本 彩乃(2) (15) 2.09.10 (19) 26.29	2.09.10
⑯駿河台大学	山口ありす(2) (9) 21.30 (9) 21.30	橋詰 史歩(2) (13) 35.16 (20) 13.46	渡邊 美悠(4) (16) 55.13 (21) 19.57	前田 百花(1) (18) 1.12.24 (19) 17.11	丸毛 萌愛(3) (16) 1.43.20 (10) 30.56	塩野愛梨花(4) (16) 2.09.41 (18) 26.21	2.09.41
⑰関西外国語大学	後田 乃愛(2) (11) 21.53 (11) 21.53	神田 美咲(1) (15) 35.33 (17) 13.40	矢吹 美宙(3) (14) 54.55 (10) 19.22	札場 美桜(4) (13) 1.11.46 (15) 16.51	寺木みのり(2) (19) 1.43.59 (19) 32.13	三尾川 唯(1) (17) 2.09.53 (10) 25.54	2.09.53
⑱中央大学	木下 紗那(4) (20) 22.23 (20) 22.23	上ノ原小都理(1) (23) 36.43 (24) 14.20	南 日向(4) (22) 56.23 (16) 19.40	前田 七海(3) (22) 1.13.29 (18) 17.06	浜野 光(4) (18) 1.43.53 (7) 30.24	並木 美乃(4) (18) 2.09.55 (12) 26.02	2.09.55
⑲東洋大学	渋谷 葉絵(4) (15) 21.57 (15) 21.57	平方 杏奈(1) (14) 35.30 (14) 13.33	松木 七光(3) (13) 54.54 (13) 19.24	高木 杏珠(1) (14) 1.11.54 (17) 17.00	住野 友理(3) (17) 1.43.23 (16) 31.29	峯尾沙也夏(2) (19) 2.10.03 (20) 26.40	2.10.03
⑳京都産業大学	永吉 悠優(3) (19) 22.19 (19) 22.19	坂本有理佳(3) (20) 36.10 (22) 13.51	黒田 奈那(2) (19) 55.31 (9) 19.21	平野 愛莉(1) (19) 1.12.42 (19) 17.11	今 絵里南(3) (20) 1.45.29 (21) 32.47	新井 乃愛(2) (20) 2.11.39 (16) 26.10	2.11.39
㉑新潟医療福祉大学	清水 杏夏(4) (23) 22.49 (23) 22.49	福原 陽(3) (21) 36.25 (16) 13.36	風呂美祐羽(2) (21) 56.12 (18) 19.47	宮下 麗美(2) (21) 1.13.24 (21) 17.12	佐藤 瑠捺(2) (21) 1.45.59 (20) 32.35	二村夕希子(4) (21) 2.13.01 (22) 27.02	2.13.01
㉒中京学院大学	村上 倫(2) (24) 22.55 (24) 22.55	大沼はるな(4) (22) 36.37 (19) 13.42	中村 柚音(4) (23) 56.24 (18) 19.47	渡邊 葵(4) (23) 1.14.13 (23) 17.49	松本 実咲(3) (22) 1.47.12 (22) 32.59	三城 愛梨(2) (22) 2.14.31 (23) 27.19	2.14.31
㉓環太平洋大学	正司 瑠奈(4) (16) 21.59 (16) 21.59	植松 憂咲(4) (17) 35.40 (18) 13.41	樋口 美桜(2) (20) 55.40 (22) 20.00	白濱 桜花(2) (20) 1.13.21 (22) 17.41	松尾 莉奈(1) (23) 1.48.16 (24) 34.55	近江 香穂(4) (23) 2.14.59 (21) 26.43	2.14.59
㉔仙台大学	伊東舞莉彩(3) (22) 22.43 (22) 22.43	森谷 乙葉(3) (24) 38.31 (26) 15.48	山崎 奈結(2) (24) 1.00.30 (25) 21.59	及川 聖奈(2) (24) 1.19.20 (26) 18.50	木下 柚葵(3) (24) 1.54.53 (25) 35.33	栗原なのは(2) (24) 2.23.27 (25) 28.34	2.23.27
㉕北海道大学	氏家 颯花(M1) (25) 24.36 (25) 24.36	浦添 千章(2) (25) 39.41 (25) 15.05	川瀬 晶子(3) (25) 1.01.58 (26) 22.17	白土 莉央(1) (25) 1.20.22 (25) 18.24	森川 弓月(M1) (25) 1.56.23 (26) 36.01	則保安貴子(3) (25) 2.24.47 (24) 28.24	2.24.47
東北学連選抜(オープン)	小野寺美麗(3) (石巻専修大学) (25) 23.09 (25) 23.09	竹内 璃奈(1) (石巻専修大学) (23) 37.16 (23) 14.07	田中 もえ(3) (東北大学) (24) 57.37 (24) 20.21	松野 海白(4) (東北学院大学) (24) 1.15.44 (24) 18.07	菅野 愛夏(3) (石巻専修大学) (23) 1.49.36 (23) 33.52	船山 明莉(3) (山形県立保健医療大学) (26) 2.18.35 (26) 28.59	2.18.35
過去最高記録	野田真理耶 (大東文化大学) 21.11 (24年)	山本 柚未 (立命館大学) 12.41 (24年)	村松 灯 (立命館大学) 18.45 (24年)	谷本 七星 (名城大学) 15.14 (22年)	不破聖衣来 (拓殖大学) 28.00 (21年)	谷本 七星 (名城大学) 24.46 (23年)	立命館大学 2.03.03 (2024年)

【大会報告】

秩父宮賜杯第57回全日本大学駅伝対校選手権大会

常任幹事 河本 賀帆

1. 大会名：秩父宮賜杯第57回全日本大学駅伝対校選手権大会
2. 大会期日：2025年11月2日（日）
3. 場所：愛知県・熱田神宮西門前～三重県・伊勢神宮内宮宇治橋前
4. エントリー数：25校・日本学連選抜チーム（OP）・東海学連選抜チーム（OP）計27チーム
5. 大会総括

秩父宮賜杯第57回全日本大学駅伝対校選手権大会が11月2日（日）に熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前までの全8区間106.8kmで行われました。大会当日は晴天に恵まれ、全27チームが力強く伊勢路を駆け抜けました。

1区では互いに牽制しあう中で順天堂大の吉岡大翔選手、初出場となった志學館大の中村晃斗選手が集団を率いる展開となりました。残り200m、中村選手が集団を突き放し、区間賞を獲得しました。

2区では各校エースたちの実力が拮抗する中、中央大の吉居駿恭選手がトップに立ちました。また、13位でタスキを受け取った帝京大の楠岡由浩選手が、区間タイ記録の快走を見せました。

3区では駒澤大の帰山侑大選手、中央大の藤田大智選手、区間賞を獲得した國學院大の野中恒亨選手による熾烈な先頭争いが繰り広げられ、4区ではトップでタスキリレーをした中央大の柴田大地選手が、区間賞も獲得しました。

5区では駒澤大の伊藤蒼唯選手が、従来の区間記

録を17秒更新する区間新記録で区間賞を獲得し、4位から一気に首位へ浮上。チームに勢いをつけました。

6区も駒澤大がトップをしっかりとキープ。区間賞は7位から5位に順位を押し上げた青山学院大の飯田翔大選手が獲得しました。

続く7区でも、駒澤大は数々の記録を打ち立ててきた佐藤圭汰選手が快調にトップの座を守ります。10月に行われた出雲駅伝でも区間賞を獲得した青山学院大の黒田朝日選手が区間記録を更新する圧巻の走りで佐藤選手を抑え、区間賞を獲得しました。

最終8区でもトップの座を守り切った駒澤大が2年ぶりに制し、史上最多17回目の優勝を果たしました。中央大が過去最高順位に並ぶ2位、3位は青山学院大と続き、前回優勝の國學院大は4位でのフィニッシュとなりました。5位は早稲田大で、アンカーの工藤慎作選手は日本人区間最高記録を30年ぶりに塗り替え、区間賞を獲得。夏のFISUワールドユニバーシティゲームズ（2025/ライン・ルール）ハーフマラソン優勝の実力を示しました。

大会MVPは区間新記録の走りで優勝へと導いた駒澤大の伊藤選手が選出されました。年々注目が高まっているこの全日本大学駅伝から、世界に羽ばたく選手が現れることを期待しています。

今大会が無事に開催できたのはご支援、ご協力いただいている多くの方々によるものです。この大会がさらに発展し、陸上界の盛り上がりにつながるよう、今後ともよろしくお願いたします。



全日本大学駅伝は熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前までの全8区間106.8kmで行われた。写真はスタートシーン



2年ぶり17回目の優勝を飾った駒澤大。写真は5区区間新でトップに立った伊藤蒼唯(4年、左)から6区・村上響(3年)へのタスキリレー

両手人差し指を突き上げてフィニッシュテープを切った駒澤大のアンカー・山川拓馬



過去最高に並ぶ2位でフィニッシュした中央大。アンカー・溜池一太が区間2位で青学大を逆転した



青山学院大はエースで主将の黒田朝日(左)が区間新の快走で3人抜き。アンカー・小河原陽琉も区間7位にまとめ、3位でフィニッシュした



出雲駅伝からの連勝と2連覇を狙った国学院大は主要区間で苦戦して4位。それでも3区・野中恒亨(3年)が留学生を抑える区間賞に輝くなど見せ場を作った



5位は早大。アンカー・工藤慎作(3年)が大学の先輩である渡辺康幸が1996年に作った区間日本人最高記録(56分59秒)を30年ぶりに更新する56分54秒をマークする力走を見せた



帝京大は榎岡由浩(3年)が区間タイの好走で12位から2位に押し上げるなど序盤で流れに乗り、6位を占めた

初出場から4年連続シード権を獲得した創価大。2区・小池莉希(右)と3区のステイブーン・ムチーニがともに区間5位で流れを作った



順大は3年ぶりとなるシード校に振り返り。アンカー・小林侑世が日体大を逆転した



1区では初出場の志学館大・中村晃斗(3年)が強烈なスタートで区間賞をもぎ取った

秩父宮賜杯第57回全日本大学駅伝対校選手権大会 成績

上段=総合成績
下段=区間成績
●=区間新

チーム名	1区 (9.5km)	2区 (11.1km)	3区 (11.9km)	4区 (11.8km)	5区 (12.4km)	6区 (12.8km)	7区 (17.6km)	8区 (19.7km)	総合成績 (106.8km)
①駒澤大	小山 翔也(3) (4) 27.21 (4) 27.21	谷中 晴(2) (3) 58.35 (3) 31.14	尾山 侑大(4) (1) 1.32.13 (3) 33.38	安原 海晴(3) (4) 2.06.41 (5) 34.28	伊藤 蒼唯(4) (1) 2.41.42 (1) ●35.01	村上 響(3) (1) 3.19.04 (1) 37.22	佐藤 圭汰(4) (1) 4.09.30 (1) 50.26	山川 拓馬(4) (1) 5.06.53 (1) 57.23	5:06.53
②中央大	本間 颯(3) (8) 27.25 (9) 27.25	吉居 駿基(4) (1) 58.32 (2) 31.07	藤田 大智(3) (1) 1.32.14 (3) 33.42	柴田 大地(3) (1) 2.06.06 (1) 33.52	三宅 悠斗(1) (3) 2.42.39 (3) 36.33	佐藤 大介(2) (2) 3.20.08 (2) 37.29	岡田 開成(2) (3) 4.11.51 (6) 51.43	溜池 一太(4) (2) 5.08.54 (2) 57.03	5:08.54
③青山学院大	藤山 一颯(1) (11) 27.28 (12) 27.28	荒巻 朋熙(4) (10) 59.24 (7) 31.56	宇田川 瞬矢(4) (8) 1.33.18 (7) 33.54	塩出 翔太(4) (7) 2.08.02 (7) 34.44	佐藤 有一(4) (7) 2.44.36 (4) 36.34	飯田 翔太(2) (5) 3.21.56 (1) 37.20	黒田 朝日(4) (5) 4.11.27 (1) ●49.31	小河原陽琉(2) (3) 5.09.28 (7) 58.01	5:09.28
④國學院大	尾熊 迅斗(2) (3) 27.21 (3) 27.21	辻原 輝(3) (7) 59.03 (9) 31.42	野中 恒亨(3) (2) 1.32.14 (1) 33.11	高山 豪起(4) (2) 2.06.08 (2) 33.54	飯國 新太(2) (2) 2.42.34 (2) 36.26	浅野 結太(2) (3) 3.20.09 (4) 37.35	青木 瑠都(4) (4) 4.12.20 (9) 52.11	上原 琉輝(4) (4) 5.09.45 (4) 57.25	5:09.45
⑤早稲田大	間瀬田純平(4) (2) 27.20 (2) 27.20	鈴木 琉鳳(1) (4) 58.35 (4) 31.15	堀野 正太(1) (7) 1.33.14 (6) 34.39	吉倉ナヲ直希(2) (6) 2.07.51 (7) 34.37	小平 敦之(3) (6) 2.44.34 (6) 36.43	宮岡 凜太(4) (7) 3.22.30 (6) 37.56	山口 智規(4) (6) 4.13.27 (4) 50.57	工藤 慎作(3) (5) 5.10.21 (1) 56.54	5:10.21
⑥帝京大	柴戸 遼太(4) (12) 27.32 (13) 27.32	楠岡 由浩(3) (2) 58.33 (1) ●31.01	原 悠太(3) (4) 1.32.28 (8) 33.55	谷口 颯太(3) (3) 2.06.28 (3) 34.00	鎗田 大輝(4) (4) 2.43.23 (9) 36.55	尾崎 仁哉(4) (4) 3.21.19 (5) 37.56	島田 晃希(4) (5) 4.12.36 (5) 51.17	浅川 侑大(3) (6) 5.10.56 (8) 58.20	5:10.56
⑦創価大	石丸 惇那(4) (7) 27.25 (8) 27.25	小池 莉希(3) (5) 58.47 (5) 31.22	S.ムチーニ(3) (6) 1.32.31 (5) 33.44	織藤 巧(3) (5) 2.06.42 (4) 34.11	衣川 勇太(1) (5) 2.43.24 (6) 36.42	榎木凜太郎(2) (6) 3.22.00 (10) 38.36	野沢 悠真(4) (7) 4.14.03 (7) 52.03	山口 翔輝(2) (7) 5.11.56 (6) 57.53	5:11.56
⑧順天堂大	吉岡 大翔(3) (6) 27.24 (6) 27.24	井上 朋哉(1) (8) 59.04 (8) 31.40	山本 悠(2) (11) 1.33.52 (14) 34.48	永原 颯輝(2) (10) 2.08.48 (8) 34.56	川原 琉人(2) (9) 2.45.23 (5) 36.35	石岡 大侑(4) (8) 3.23.06 (5) 37.43	古川 達也(3) (9) 4.16.07 (14) 53.01	小林 侑世(3) (8) 5.14.33 (10) 58.26	5:14.33
⑨城西大	小田 伊織(3) (14) 27.45 (15) 27.45	小林 竜輝(2) (13) 1.00.24 (13) 32.39	V.キムタイ(4) (10) 1.33.36 (2) 33.12	柴田 侑(3) (11) 2.08.50 (10) 35.14	若田 真之(4) (11) 2.45.53 (10) 37.03	大沼良太郎(4) (10) 3.24.01 (9) 38.08	中島 巨翔(3) (12) 4.17.54 (16) 53.53	斎藤 将也(4) (9) 5.15.26 (5) 57.32	5:15.26
⑩日本大	山口 彰太(3) (10) 27.28 (11) 27.28	山口 聡太(3) (11) 59.50 (12) 32.22	天野 啓太(3) (14) 1.34.50 (15) 35.00	中澤 星音(4) (13) 2.10.23 (14) 35.33	長澤 辰朗(2) (14) 2.48.14 (14) 37.51	大仲 竜平(4) (11) 3.26.55 (11) 38.41	S.キップケイ(1) (10) 4.17.12 (2) 50.17	鈴木 孔士(4) (10) 5.15.37 (9) 58.25	5:15.37
⑪日本体育大	荻野 桂輔(2) (5) 27.22 (5) 27.22	平島 龍斗(4) (6) 58.47 (7) 31.25	田島 駿介(4) (5) 1.32.31 (5) 33.44	二村昇太郎(4) (8) 2.08.03 (12) 35.32	吉田 黎大(3) (8) 2.44.54 (8) 36.51	大竹 雄大(4) (9) 3.23.53 (14) 38.59	山崎 丞(4) (8) 4.15.56 (7) 52.03	佐藤 大和(2) (11) 5.15.51 (16) 59.55	5:15.51
⑫東海大	兵藤ジュタ(4) (17) 27.55 (18) 27.55	永本 脩(3) (9) 59.19 (6) 31.24	花岡 寿哉(4) (9) 1.33.20 (9) 34.01	中野 純平(2) (9) 2.08.39 (11) 35.19	松山 優太(1) (10) 2.45.47 (11) 37.08	平井 瑞空(2) (11) 3.25.09 (16) 39.22	南坂 柚汰(3) (11) 4.17.23 (10) 52.14	竹割 真(4) (12) 5.17.16 (15) 59.53	5:17.16
⑬大東文化大	菅崎 大翔(1) (20) 28.03 (21) 28.03	棟方 一楽(3) (12) 1.00.11 (11) 32.08	大濱 遼真(2) (13) 1.34.40 (11) 34.29	中澤 真大(2) (12) 2.09.43 (9) 35.03	鈴木 要(1) (12) 2.47.39 (15) 37.56	上田 翔太(1) (13) 3.26.42 (15) 39.03	入瀬 輝大(4) (14) 4.19.28 (12) 52.46	松浦 輝仁(2) (13) 5.18.27 (11) 58.59	5:18.27
⑭立教大	吉屋 佑哉(4) (15) 27.49 (16) 27.49	伊藤 匠海(3) (14) 1.00.30 (17) 32.41	野口 颯汰(3) (15) 1.36.24 (17) 35.54	小倉 史也(4) (15) 2.12.07 (14) 35.43	鈴木 愛音(2) (12) 2.49.26 (15) 37.19	永井 駿(4) (15) 3.27.33 (8) 38.07	原田 颯大(3) (15) 4.19.48 (11) 52.15	國安 広人(4) (14) 5.18.51 (12) 59.03	5:18.51
⑮中央学院大	坂本 駿(4) (16) 27.50 (17) 27.50	近田 陽路(4) (16) 1.00.34 (12) 32.44	市川 大世(3) (14) 1.34.36 (10) 34.02	三角 洸太(4) (14) 2.10.25 (16) 35.49	黒田 優(4) (13) 2.47.53 (13) 37.28	三代田宏太郎(2) (12) 3.26.37 (12) 38.44	長部虎太郎(2) (13) 4.19.27 (13) 52.50	林 愛斗(3) (15) 5.19.52 (19) 1.00.25	5:19.52
⑯関西大	平野 圭人(3) (19) 27.58 (20) 27.58	谷村 恒成(4) (19) 1.00.58 (18) 33.00	芝 秀介(4) (19) 1.37.57 (22) 36.59	秋山翔太郎(4) (18) 2.14.25 (17) 36.28	岡村 和真(3) (18) 2.52.57 (17) 38.32	坂本 亘生(M1) (16) 3.32.34 (17) 39.37	高村 瑛太(2) (17) 4.27.54 (19) 55.20	糟谷 源太(2) (16) 5.28.32 (21) 1.00.38	5:28.32
⑰大阪経済大	岩坂 蓮太(2) (9) 27.26 (10) 27.26	婦木 拓実(4) (18) 1.00.54 (21) 33.28	内尾射光矢(2) (17) 1.36.46 (16) 35.52	新 博貴(4) (16) 2.13.07 (17) 36.21	京川 大真(3) (16) 2.51.40 (18) 38.33	角野 凌誠(3) (17) 3.33.13 (24) 41.33	山崎 真聖(4) (16) 4.27.02 (15) 53.49	野島 清聖(2) (17) 5.29.38 (24) 1.02.36	5:29.38
⑱関西学院大	山下 慶馬(3) (13) 27.43 (14) 27.43	寺川 直央(3) (15) 1.00.33 (16) 32.50	久山 大祐(3) (16) 1.36.31 (17) 35.58	山本 雅也(4) (17) 2.13.27 (20) 36.56	富永己太郎(3) (17) 2.52.51 (17) 39.24	片山 堅友(2) (18) 3.33.45 (23) 40.54	尼子 和磨(1) (19) 4.29.29 (21) 55.44	嘉味本謙信(3) (18) 5.30.05 (20) 1.00.36	5:30.05
⑲札幌学院大	高坂 光希(3) (25) 29.12 (27) 29.12	西塚 璃純(4) (21) 1.02.28 (20) 33.16	栗田 紳苧(3) (20) 1.38.52 (20) 36.24	早川 拓海(4) (20) 2.15.55 (22) 37.03	浦田 陽聖(2) (19) 2.54.54 (19) 38.59	山田 陽翔(4) (19) 3.34.59 (18) 40.05	伊藤 徹(4) (18) 4.29.28 (18) 54.29	K.ケネス(1) (19) 5.30.38 (23) 1.01.10	5:30.38
⑳名古屋大	吉原 諒(M1) (21) 28.17 (22) 28.17	加藤 太一(4) (22) 1.02.48 (25) 34.31	浅野 稜太(4) (23) 1.40.20 (26) 37.32	阿部 祥典(M1) (22) 2.17.05 (19) 36.45	松村 公平(M1) (22) 2.56.46 (24) 39.41	吉田 和輝(2) (20) 3.37.19 (19) 40.33	小川 海里(M1) (20) 4.33.14 (23) 55.55	河崎 憲祐(M2) (20) 5.32.25 (13) 59.11	5:32.25
㉑岐阜協立大	下田 悠友(2) (23) 28.20 (24) 28.20	日比 健仁(3) (23) 1.02.49 (24) 34.29	田畑 来成(2) (22) 1.39.59 (24) 37.10	道下 力也(3) (23) 2.17.36 (24) 37.37	安藤涼太郎(2) (23) 2.57.03 (21) 39.27	長瀬 大起(4) (21) 3.37.49 (22) 40.46	友松 悠人(3) (24) 4.33.59 (14) 56.10	中嶋 希(3) (21) 5.33.47 (14) 59.48	5:33.47
㉒志学館大	中村 晃斗(3) (1) 27.20 (1) 27.20	齊藤 莉樹(2) (17) 1.00.41 (20) 33.21	小田 夕暁(2) (18) 1.37.12 (18) 36.31	濱川 輝太(2) (19) 2.15.44 (26) 38.32	大平 倫嗣(1) (21) 2.55.59 (25) 40.15	岩川 竜武(1) (24) 3.40.55 (27) 44.56	日野 拓夢(2) (23) 4.35.02 (17) 54.07	辻田 鉄人(2) (22) 5.36.07 (22) 1.01.05	5:36.07
㉓信州大	片岡 晴哉(2) (22) 28.19 (23) 28.19	森田 克馬(4) (25) 1.03.43 (24) 35.24	尾崎 康佑(4) (24) 1.40.47 (23) 37.04	佐藤 匠(4) (24) 2.19.18 (25) 38.31	三林 明弥(M2) (24) 2.58.51 (2) 39.33	内田 善登(3) (23) 3.39.33 (42) 59.19	田中 悠貴(4) (24) 4.35.52 (25) 59.19	松林 直亮(M2) (23) 5.36.11 (18) 1.00.19	5:36.11
㉔広島経済大	東 秀太(4) (18) 7.56 (19) 27.56	谷畑 佑樹(1) (20) 1.01.49 (22) 33.53	小川 晴也(4) (21) 1.38.59 (23) 37.10	瀬尾 大和(2) (21) 2.16.21 (23) 37.22	板谷 和磨(4) (20) 2.55.53 (22) 39.32	田辺 豊(4) (22) 3.37.58 (25) 42.05	藤井 奏汰(3) (21) 4.33.48 (22) 55.50	佐々木 昂(3) (24) 5.37.37 (26) 1.03.49	5:37.37
㉕東北学院大	吉田 奏斗(3) (24) 28.33 (26) 28.33	秋川 暁(2) (24) 1.03.34 (26) 35.01	齋藤 颯希(4) (25) 1.41.19 (27) 37.45	中野 朝斗(4) (25) 2.21.37 (27) 40.18	阿部 輝翔(3) (25) 3.02.40 (27) 41.03	齋 優太郎(3) (25) 3.44.46 (26) 42.06	新美 和哉(2) (25) 4.47.22 (27) 1.02.36	児玉 脩平(2) (25) 5.44.02 (27) 1.06.40	5:54.02
日本学連選抜 (オープン)	古橋 希碧(3) (駿河台大) (7) 27.25	染谷 雄輝(4) (日本薬科大) (17) 1.00.16	山本 涼介(4) (環太平洋大) (11) 1.34.45	鶴田 寛武(M1) (鹿児島大) (15) 35.47	佐藤我駆人(2) (駿河台大) (16) 38.10	松原幸之助(2) (京都産業大) (13) 32.73	南部 悠陽(3) (同志社大) (20) 55.37	赤澤 京弥(4) (岡山大) (17) 1.00.09	5:23.19
東海学連選抜 (オープン)	豊田 雄大(1) (愛知工業大) (25) 28.26	原 一成(2) (愛知工業大) (25) 1.02.39	若田 玄弥(3) (愛知工業大) (18) 1.38.37	鈴木 公輔(2) (中京大) (21) 2.15.34	鶴田 耀也(4) (中京大) (26) 2.56.12	吉田 亘(4) (三重大) (20) 3.36.47	脇田 航輝(M2) (名城大) (24) 4.33.43	曾越 祐志(2) (皇学館大) (25) 5.36.52	5:36.52
過去最高記録	P.ワンズル (大東文化大) 26.58(22年)	佐藤 圭汰 (駒澤大) 31.01(23年)	Y.ヴァンセント (東京国際大) 32.46(21年)	黒田 朝日 (青山学院大) 33.03(24年)	吉田 響 (創価大) 35.18(23年)	山本 歩夢 (國學院大) 36.47(24年)	田澤 廉 (駒澤大) 49.38(22年)	M.J.モグス (山梨学院大) 55.32(07年)	駒澤大 5:06.47 (2022年)

【大会報告】

2025全日本大学女子選抜駅伝競走

常任幹事 八馬 瑚々美

1. 大会名：2025全日本大学女子選抜駅伝競走
2. 大会期日：2025年12月30日（火）
3. 場所：静岡県・富士市/富士宮市 富士山本宮浅間大社前～富士総合運動公園陸上競技場
4. エントリー数：22校・全日本大学選抜チーム・静岡県学生選抜チーム 計24チーム
5. 大会総括

令和7年12月30日（火）、2025年を締めくくる駅伝大会である2025全日本大学女子選抜駅伝競走（2025富士山女子駅伝）が、静岡県の富士宮市・富士山本宮浅間大社前から富士市・富士総合運動公園陸上競技場までの7区間43.4kmで行われました。第43回全日本大学女子駅伝の上位12校、5000mのタイムから選出された10校に、全日本大学選抜チームと静岡県学生選抜チームを加えた計24チームが出場し、今年度も日本一を決める熾烈な戦いを繰り広げました。

連覇を狙う前回大会優勝の立命館大、2年前に6連覇を成し遂げて王座奪還を目指す名城大や、第43回全日本大学女子駅伝で25年ぶりの優勝を飾った城西大、さらにはシルバーコレクター脱却を目指す大東文化大など、例年以上の混戦が予想される中でレースがスタートしました。

1区では、立命館大の佐藤ゆあ選手が残り400mで先頭集団から抜け出し、区間賞を獲得しました。続く2区では城西大の本間香選手がトップと4秒差の3位でたすきを受け取ると、1km手前で先頭に立ち、その後は圧倒的な走りで後続との差を54秒まで広げました。区間記録を4秒更新する区間新記録で区間賞を獲得しました。

平坦で最短区間の3区では、立命館大の森安桃風選手が4人抜きでの快走で区間賞を獲得しました。4区では名城大の米澤奈々香選手が4つ順位を押し上げ、区間賞を獲得しました。城西大は両区間ともに首位をしっかりと守ります。

各大学のエースが集う最長区間の5区では、大東文化大のサラ・ワンジル選手がチームをトップに押し上げ、区間賞を獲得しました。6区では、城西大の

窪田舞選手が区間賞の走りで東北福祉大を抜いて2位に浮上し、先頭を走る大東文化大とは56秒あった差を24秒まで縮めました。

高低差169mを駆け上がる最終7区では、城西大の大西由菜選手が4km付近で大東文化大をかわすも、6km付近で東北福祉大の村山愛美沙選手に逆転を許しました。しかし、残り1kmで再び先頭に立つと、そのまま区間賞の走りでフィニッシュテープを切り、優勝を果たしました。2位は東北福祉大、3位は大東文化大、王座奪還を狙った名城大は4位、連覇を目指した立命館大は5位となりました。

城西大は7区間のうち3区間で区間賞を獲得し、本大会で初優勝を達成しました。これにより、全日本大学女子駅伝と合わせて2冠を達成しました。

2025年の日本学連主催競技会は、本大会をもって終了いたしました。2025年は国内でのトラック&フィールドや駅伝大会に加え、東京世界選手権をはじめとした国際大会でも、多くの好成绩・名勝負が生まれた1年となりました。2026年もまた、向上と進展の信念に基づき、スポーツを通じて明るい未来を切り開いていけるよう、私たち一同尽力してまいります。引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2時間22分36秒で初優勝を飾った城西大。1年生の大西由菜が歓喜のフィニッシュテープを切った





城西大は25年ぶり3度目の優勝を果たした全日本と合わせて初の2冠に輝いた



東北福祉大が2時間22分47秒で過去最高の準優勝を果たした。写真は5区・佐々木菜月(3年、左)から6区・小林日香莉(3年)へのタスキリレー



2年ぶり奪還を狙った名城大は2時間24分34秒の4位。3、4区ではチームを牽引してきた4年生の石松愛朱加(左)と米澤奈々香主将が笑顔でタスキをつないだ

大東文化大はケガや直前のインフルエンザで複数の主力を欠く非常事態のなか、2時間23分10秒で3位と奮闘。5区ではサラ・ワンジルがトップを走る見せ場も作った



連覇を狙った立命館大は1区で佐藤ゆあ(1年)が区間賞スタートを切ったが、2区以降は優勝争いに絡めず、2時間25分39秒の5位だった



4年連続入賞の大阪学院大は全日本に続いて6位。10位でタスキを受けた1年生アンカーの古澤由奈が区間4位で4つ順位を押し上げた



全日本大学選抜が4位になった22年以来、3年ぶり入賞の8位。有力選手がそろった1区では至学館大の山本滝穂(2年、右から2人目)が果敢な走りで区間2位スタート切った

2025全日本大学女子選抜駅伝競走 成績

上段=通過タイム
下段=区間タイム
●=大会新、区間新

チーム名	1区 (4.1km)	2区 (6.8km)	3区 (3.3km)	4区 (4.4km)	5区 (10.5km)	6区 (6km)	7区 (8.3km)	総合成績 (43.4km)
①城西大	兼子 心晴④ (3) 12.51	本間 香① (1) 33.27 (1) ●20.36	本澤 美桜② (1) 43.41 (4) 10.14	澤井 風月③ (1) 58.23 (9) 14.42	金子 陽向④ (3) 1.33.35 (6) 35.12	窪田 舞① (2) 1.52.59 (1) 19.24	大西 由菜① (1) 2.22.36 (1) 29.37	2.22.36
②東北福祉大	小林 望迪② (8) 13.10	中野 芽衣② (2) 34.21 (3) 21.11	平藤 楠菜④ (2) 44.43 (6) 10.22	早坂 優② (2) 59.00 (2) 14.17	佐々木菜月③ (2) 1.33.26 (2) 34.26	小林日香莉③ (3) 1.53.01 (3) 19.35	村山愛美沙③ (2) 2.22.47 (2) 29.46	2.22.47
③大東文化大	相場 茉奈⑤ (5) 12.55	平尾 暁絵③ (5) 34.30 (9) 21.35	鈴木 彩花① (3) 44.45 (5) 10.15	森 彩純③ (4) 44.45 (4) 14.25	S.フンジル③ (1) 1.32.39 (1) 33.29	髙野萌々香③ (1) 1.52.35 (4) 19.56	秋竹 凜音① (3) 2.23.10 (6) 30.35	2.23.10
④名城大	金森詩絵菜① (4) 12.53	大河原萌花④ (7) 34.38 (12) 21.45	石松愛朱加④ (8) 45.11 (13) 10.33	米澤奈々香④ (4) 59.25 (1) 14.14	細見 芽生① (4) 1.34.18 (3) 34.53	山田 未唯③ (4) 1.54.32 (6) 20.14	橋本 和叶① (4) 2.24.34 (3) 30.02	2.24.34
⑤立命館大	佐藤 ゆあ① (1) 12.47	太田 咲雪③ (9) 34.45 (16) 21.58	森安 桃風② (4) 44.55 (1) 10.10	山本 釉未② (5) 59.10 (7) 14.32	土屋 舞琴④ (5) 1.35.03 (8) 35.36	池田 悠音② (1) 1.55.31 (10) 20.28	弓木 咲来① (5) 2.25.39 (5) 30.08	2.25.39
⑥大阪学院大	北野 寧々③ (22) 13.43	山下 彩菜④ (15) 35.14 (8) 21.31	遠藤 瑞季① (15) 45.39 (8) 10.25	依田 采巳③ (11) 1.00.10 (6) 14.31	佐内 瑞希② (13) 1.36.59 (20) 36.49	山田 祐実① (10) 1.56.32 (2) 19.33	古澤 由奈① (6) 2.26.35 (4) 30.03	2.26.35
⑦福岡大	前田穂乃香③ (11) 13.13	谷門 光莉② (14) 35.08 (15) 21.55	平野 悠莉① (14) 45.33 (8) 10.25	大住 早永① (14) 1.00.27 (12) 14.54	福山 光② (7) 1.35.32 (4) 35.05	宮原なな佳④ (6) 1.55.37 (5) 20.05	平島 ゆゆ④ (7) 2.26.59 (3) 31.22	2.26.59
⑧全日本大学選抜	山本 滝穂② (至学館大) (2) 12.50	井本 彩文④ (佛教大) (13) 35.06 (19) 22.16	正司 瑠奈④ (環太平洋大) (10) 45.18 (2) 10.12	秋竹 奏音① (日本福祉大) (15) 1.00.30 (19) 15.12	大西 文香③ (兵庫大) (8) 1.35.36 (5) 35.06	堀 純花④ (松蔭大) (7) 1.55.58 (8) 20.22	古西 亜海④ (明治国際医療大) (8) 2.27.03 (12) 31.05	2.27.03
⑨東洋大	平方 杏奈① (9) 13.11	渋谷 菜絵④ (8) 34.38 (7) 21.27	峯尾沙也夏② (9) 45.11 (13) 10.33	高木 杏珠① (10) 1.00.08 (15) 14.57	住野 友理③ (11) 1.36.12 (9) 36.04	松本 七光③ (11) 1.56.36 (9) 20.24	中才 菓子④ (9) 2.28.08 (14) 31.32	2.28.08
⑩日本体育大	佐藤 柚優① (10) 13.13	飯田 和代② (3) 34.21 (2) 21.08	塩田 百葉④ (5) 44.57 (15) 10.36	小島さくら④ (6) 59.33 (8) 14.36	田中 希実③ (9) 1.36.05 (14) 36.32	柳井 桜子④ (15) 1.56.52 (15) 20.47	高辻 光希③ (12) 2.28.44 (18) 31.52	2.28.44
⑪関西大	市岡妃彩良① (7) 13.09	前田 彩花③ (4) 34.28 (5) 21.19	山本 望結② (7) 45.10 (17) 10.42	大西 友菜② (9) 1.00.04 (12) 14.54	新山 心友③ (10) 1.36.10 (10) 36.06	有田茉合香④ (9) 1.56.30 (7) 20.20	岩本 風音④ (11) 2.28.50 (20) 32.20	2.28.50
⑫順天堂大	白木 美樹② (6) 13.04	石上 栞理③ (10) 34.52 (13) 21.48	鈴木しえる① (11) 45.19 (11) 10.27	宮崎 彩湖① (12) 1.00.13 (12) 14.54	田島 愛理③ (6) 1.36.26 (7) 35.13	石引 稚菜④ (8) 1.56.20 (17) 20.54	市川 梨愛③ (12) 2.29.36 (23) 33.16	2.29.36
⑬玉川大	藤 陽由② (19) 13.36	隅田 美羽③ (16) 35.16 (11) 21.40	藤 彩乃③ (13) 45.29 (3) 10.13	白石 憂佳④ (13) 1.00.16 (11) 14.47	大木 志桜② (14) 1.37.01 (18) 36.45	西田 未羽② (13) 1.57.35 (11) 20.34	新明百寿花② (13) 2.29.53 (19) 32.18	2.29.53
⑭拓殖大	柿澤 りん① (12) 13.14	菅野こころ① (22) 36.04 (23) 22.50	池主 菜弥④ (21) 46.50 (19) 10.46	岡 彩輝① (21) 1.02.13 (21) 15.23	三宅 優姫② (18) 1.38.23 (11) 36.10	赤羽真衣佳③ (17) 1.59.06 (12) 20.43	新井 沙希④ (14) 2.30.08 (11) 31.02	2.30.08
⑮中央大	南 日向④ (13) 13.18	浜野 光④ (11) 34.54 (10) 21.36	上ノ原小都留① (16) 45.49 (21) 10.55	仲西 梨花③ (19) 1.01.57 (24) 16.08	並木 美乃④ (20) 1.38.34 (16) 36.37	前田 七海③ (18) 1.59.18 (14) 20.44	木下 紗那④ (15) 2.30.13 (10) 30.55	2.30.13
⑯筑波大	勝 くるみ③ (17) 13.24	小松 夕夏④ (6) 34.35 (3) 21.11	岡崎 芽依① (6) 45.04 (12) 10.29	田村 遥音① (7) 59.49 (10) 14.45	白川 朝陽② (12) 1.36.14 (13) 36.25	富山 映理③ (15) 1.58.41 (24) 22.27	田中 柚良② (16) 2.30.15 (16) 31.34	2.30.15
⑰帝京科学大	山田 依菜② (18) 13.33	今西 紗世① (12) 34.58 (6) 21.25	中島 想① (12) 45.21 (7) 10.23	渡邊 百香① (8) 59.50 (5) 14.29	渡辺 笑夏④ (15) 1.37.10 (22) 37.20	村上 りの② (14) 1.57.53 (12) 20.43	渡邊 杏梨① (17) 2.30.30 (22) 32.37	2.30.30
⑱東京農業大	益塚 稀② (20) 13.39	石正 彩綾③ (21) 35.56 (20) 22.17	鈴木和香奈③ (20) 46.42 (19) 10.46	白田 麻花③ (17) 1.01.51 (17) 15.09	高瀬 詩織① (19) 1.38.23 (14) 36.32	綱川 まい① (19) 1.59.52 (21) 21.29	西山 英莉④ (18) 2.30.38 (8) 30.46	2.30.38
⑲京都産業大	中塔 美咲① (21) 13.43	黒田 奈那② (18) 35.32 (14) 21.49	今 絵里南③ (17) 45.57 (8) 10.25	金尾 美宥① (16) 1.01.07 (18) 15.10	新井 乃愛② (16) 1.37.51 (17) 36.44	平野 愛莉① (16) 1.59.01 (18) 21.10	坂本有理佳③ (19) 2.30.41 (17) 31.40	2.30.41
⑳大阪芸術大	菅崎 南花④ (14) 13.19	大沼 乃愛③ (19) 35.37 (21) 22.18	村上 彩葉③ (19) 46.35 (22) 10.58	山下 美羽① (20) 1.01.59 (22) 15.24	岩本 彩乃② (17) 1.38.17 (12) 36.18	宮田 伊織② (20) 1.59.55 (22) 21.38	青柳 朋花④ (20) 2.30.47 (9) 30.52	2.30.47
㉑関西外国語大	札幌 美桜④ (23) 13.55	後田 乃愛② (18) 22.14	矢吹 美宙③ (22) 46.54 (18) 10.45	水川陽香留④ (18) 1.01.52 (16) 14.58	寺木みのり② (22) 1.39.30 (23) 37.38	林 那優③ (22) 2.00.51 (19) 21.21	三尾川 唯① (21) 2.31.28 (7) 30.37	2.31.28
㉒神戸学院大	桑田 渚④ (16) 13.22	宮定 愛実④ (17) 35.21 (17) 21.59	秋山ひいろ① (18) 46.19 (22) 10.58	小西 優菜① (22) 1.02.15 (23) 15.56	山口 藍美② (21) 1.39.01 (19) 36.46	佐藤 友香④ (21) 2.00.40 (23) 21.39	濱村 一咲① (22) 2.32.12 (14) 31.32	2.32.12
㉓静岡県選抜	長田 彩沙① (亜細亜大) (24) 14.11	若林 藍那① (24) 37.26 (24) 23.15	廣瀬 椰② (立命館大) (24) 48.05 (16) 10.39	鈴木結莉乃① (東北福祉大) (24) 1.02.29 (3) 14.24	沖 千都④ (亜細亜大) (23) 1.39.46 (21) 37.17	眞田ひかる④ (亜細亜大) (24) 2.01.10 (20) 21.24	滝澤かなな④ (順天堂大) (23) 2.33.46 (21) 32.36	2.33.46
㉔駿河台大	橋詰 史歩② (15) 13.22	塩野愛梨花④ (20) 35.47 (22) 22.25	染川 舞衣③ (23) 47.05 (24) 11.18	渡邊 美悠④ (23) 1.02.22 (20) 15.17	山口ありす② (24) 1.40.18 (24) 37.56	丸毛 萌愛③ (23) 2.01.09 (16) 20.51	山本 結子③ (24) 2.34.26 (24) 33.17	2.34.26
過去最高記録	高見澤安珠 (松山大) 12.42(16年)	五島莉乃・和田有菜 (中央大・名城大) 20.40(19年・20年)	米澤奈々香 (名城大) 10.03(22年)	山本 釉未 (立命館大) 13.54(24年)	不破聖衣来 (拓殖大) 32.23(21年)	福永 楓花 (立命館大) 19.12(24年)	小林 成美 (名城大) 28.26(20年)	立命館大 2.21.09 (2024年)

勲功章贈与式を開催

1. 日時：令和7年12月13日(土) 13:30～13:50

2. 場所：TKP新宿カンファレンスセンター6D

2025年に勲功章を受章した選手に対し、日本学連・松本会長より、章記が贈呈されました。

【2025年度勲功章受章者】

- 阿部 竜希(あべ たつき) 順天堂大学
男子110mH：13秒47(−0.3)(優勝)
- 工藤 慎作(くどう しんさく) 早稲田大学
男子ハーフマラソン：1時間2分29秒(優勝)
男子ハーフマラソン団体：3時間7分52秒(優勝)
- 上原 琉翔(うえはら りゅうと) 國學院大学
男子ハーフマラソン：1時間2分39秒(3位)
男子ハーフマラソン団体：3時間7分52秒(優勝)
- 馬場 賢人(ばば けんと) 立教大学
男子ハーフマラソン：1時間2郡44秒(4位)
男子ハーフマラソン団体：3時間7分52秒(優勝)
- 土屋 温希(つちや あつき) 立命館大学
男子20km競歩：1時間20分08秒(2位)
男子20km競歩団体：4時間3分45秒(優勝)
- 原 圭佑(はら けいすけ) 京都大学
男子20km競歩：1時間20分26秒(4位)
男子20km競歩団体：4時間3分45秒(優勝)
- 吉迫 大成(よしご たいせい) 東京学芸大学
男子20km競歩：1時間23分11秒(12位)
男子20km競歩団体：4時間3分45秒(優勝)
- 土屋 舞琴(つちや まこと) 立命館大学
女子ハーフマラソン：1時間12分58秒(2位)
女子ハーフマラソン団体：3時間39分32秒(優勝)
- 野田 真理耶(のだ まりや) 大東文化大学
女子ハーフマラソン：1時間13分16秒(3位)
女子ハーフマラソン団体：3時間39分32秒(優勝)
- 前田 彩花(まえだ あやか) 関西大学
女子ハーフマラソン：1時間13分18秒(4位)
女子ハーフマラソン団体：3時間39分32秒(優勝)



勲功章の贈与式の当日出席者たち。前列で日本学連・松本正之会長を挟んで左が土屋温希(立命大)、右が土屋舞琴(同)。後列左から原圭佑(京大)、吉迫大成(東学大)、野田真理耶(大東大)、前田彩花(関大)

【会議報告】

第76回理事会

1. 開催された日時：令和7年12月13日(土)14時
2. 開催場所：TKP新宿カンファレンスセンター
@ホール6D
3. 理事総数及び定足数：現在21名、定足数12名
4. 出席理事数：18名

(出席理事)：有吉 正博、小倉 幸雄、片平 誠人、
蒲原 一之、苅部 俊二、北井 敏雄、工藤 洋治、
黒須 雅弘、障子 恵、大後 栄治、鶴崎 健一、
永井 純、長澤 光雄、日隈 広至、広川龍太郎、
福島 洋樹、松本 正之、山下 誠
(出席監事)：山本 俊樹

5. 議 題

●協議事項

- 第1号議題 本年度普通会員について
第2号議案 令和8年度正会員定数(地区学連)に
ついて
第3号議案 令和8年度主要事業日程案について
第4号議案 日本学連令和8年・9年度役員候補選
出会議メンバーについて
第5号議案 令和8年学生役員候補者について
第6号議案 スポーツ安全保険について
第7号議案 専門委員会規程の改定について
第8号議案 2026年日本学生陸上競技個人選手権に
ついて(要項・標準記録)
第9号議案 その他
・2025年度秩父宮章推薦について
・陸上競技研究139号特別寄稿の扱いについて
・強化委員会における委員の追加について

●報告事項

- ①会務報告について
- ②世界大学クロスカントリー大会について
- ③各主催駅伝大会について(出場枠、他)
- ④SMBCプロボノについて
- ⑤第71回指導者会議について(案)
- ⑥その他：箱根駅伝記念大会について

6. 議事の経過およびその結果

- (1) 定足数の確認/議長および議事録署名人の選出
- (2) 議案の審議および議決結果等

《協議事項》

第1号議題 本年度普通会員について

永井専務理事より資料に基づき令和7年度普通会
員について説明があった。

前回理事会の報告数20712人から55人増員(20767
人)。(承認)

第2号議案 令和8年度正会員定数(地区学連)に ついて

大西事務局長より、資料に基づき令和8年度正会
員数定数について説明があった。

集計の結果、東海学連が9人から8人、中四国学
連が8人から9人に変更となる。(承認)

第3号議案 令和8年度主要事業日程案について

永井専務理事より、資料に基づき令和8年度主要
事業日程案について説明があった。

(1) 各種競技会について

①2026年度日本学生陸上競技個人選手権について

各委員会や役員会で検討した結果、4月の第4週
である4月24日(金)～4月26日(日)にレモンガス
スタジアム平塚での開催を予定している。課題とし
て、通常は6月開催とし、WUGの選考会がある年を
4月としていたが、日本陸連主催大会等が6月に被
る事がしばしば起きている為、今大会は例年と違い
4月開催としている。なお、今後は4月に固定しては
どうかとの意見も出ている。

②秩父宮賜杯第66回実業団対学生対抗陸上競技大 会について

実業団側と2度のミーティングを行い、全員一致
で6月27日(土)に行うこととなった。この日程であ
れば、日本陸連が指導する暑熱対策についても対応
が可能であり、日本選手権の日程と間隔があること
から、実業団側とも合意できた。

③天皇賜杯第95回日本学生陸上競技対校選手権大 会について

9月にアジア大会が入ったことで開催期間の選択
肢が狭まった。強化委員会との議論を重ね、横浜市
の日産スタジアムにて、準備日を含め5日間の確保
を希望する中で、他競技等との兼ね合いで4日間の
借用が限界とのスタジアム側から回答を受けた。過
去の実績もあることから3日間での開催で準備を進
めたい。9月4日(金)を準備期間とし、大会期間は
9月5日(土)～9月7日(月)を予定している。

暑熱対策として男子10000mと女子10000mは個
人選手権のときに行うこととしたい。

競歩に関しては大会数を減らしたくないことか

ら個人選手権 10000 m 競歩は個人選手権として実施し、9月の本大会での実施は、暑熱対策の観点から5000m 競歩にて着地した。

④ 2027年に入って男女のハーフマラソン選手権大会と競歩選手権については、WUGの選考会とする。

(2) 主要会議について

令和8年度から9年度の役員については、6月の社員総会において改選される。5月16日(土)に行われる理事会はオンラインの場合もある。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第4号議案 日本学連令和8・9年度役員候補選出会議メンバーについて

永井専務理事より、資料に基づいて説明があった。

理事候補者と監事候補者の名簿を作成し、理事会へ答申し、社員総会において決議となる。学識経験者等理事と地区学連推薦理事に分けて審議される。先に学識経験者の理事候補を役員候補選出会議メンバーにおいて挙げ、地区選出の理事候補は2月13日までに推薦書を提出。3月の理事会において審議する。

構成メンバーは、規程に従って、代表理事2名、理事2名、正会員2名、事務局1名の7名で構成。代表理事には松本正之会長、有吉正博副会長。理事枠には永井純理事、関東学連推薦理事の秋元恵美理事、正会員枠2名は関西学連会長の熊谷匡昭会長、九州学連片峯隆会長、事務局枠は大西清司事務局長という7人で構成したいと考えている。(承認)

第5号議案 令和8年学生役員候補者について

専務理事より資料に基づき説明があった。(承認)

第6号議案 スポーツ安全保険について

河野事務局次長より資料に基づき説明があった。

スポーツ安全協会から来年度から保険料の増額の連絡があった。これをきっかけに、今後スポーツ安全保険の扱いについて日本学連として継続するかどうかも含め、各方面から意見を募った。内容は資料に記載の通りである。

複数の地区学連からこの低価格で幅広くカバーできる保険は、スポーツ安全保険しかないので継続することに賛成という意見が寄せられた。

事務局としては、次年度保険料値上げがある中で、現状を考え、保険の必要性を再度確認したい。以下、懸案事項を3点挙げる。

① 値上げにより登録に関する料金が1人あたり150円増えるが、あくまで保険料が上がったことが原

因であることを、地区学連から加盟校へ周知していただくことを強く希望する。(登録料の値上げではないこと)

② 保険使用率が低く、一部の加盟校に使用が集中している。保険の周知の問題なのか加盟校が独自に加入している保険でカバーできているのかを今後確認していきたい。

③ 申請に関して事務局の負担が増える。加盟校からケガの詳細を記入してもらったうえで、事務局で保険会社のシステムにケガの細かな登録をそれぞれしていくということを行っており、ケガに関する問い合わせも事務局で行っている。この保険の適用が、主催大会だけでなく練習等、日本学連側が関知していないケガにも申請できるが、そこまですべてを競技団体がフォローすべきなのかという議論を、時間をかけて行っていきたい。

またこの保険でカバーできない主催者の賠償責任保険や、審判員に対する保険は別途加入する方針である。

理事、監事からいろいろと意見が述べられた。大学や陸上部として部員全員に同じ保険に加入しているケースも多々あるようだ。各大学にヒアリングができていない以上、保険を継続せざるをえないと思うが、本来は大学として入り、学連が主催する大会に対しては学連側が競技会個別に保険を入れるのが良いのではないか。この場合、価格も安く済む。各大学の実態を調査したうえで、日本学連として普通会員全員保険に入る必要があるかどうか考えていく必要がある。今後、アンケート調査等を地区学連にお願いし、協力を仰ぐこととし、スポーツ安全保険は次年度も継続し、保険制度については引き続き継続審議とした。

第7号議案 専門委員会規程の改定について

河野事務局次長より、資料に基づき説明があった。

① 委員会規程に関して

現在の総務委員会、競技委員会を整理し、新しい形にしていく。事務局から提案した内容を両委員会の委員長と副委員長を中心に検討した。競技会に関わる部分を競技会運営委員会とひとまとめにし、総務委員会はこの法人の運営全般、記念事業やファンドレイジングに関わることを中心に力を借りたい。

委員会規程に加え、公認審判員規程に関しても現状に合わせた変更がなされていなかった。既に規程と実態に齟齬が生じている箇所があるため、実態に合わせて書き換えを行った。

学生役員に関する規程に関しても、定員オーバーで運営している状況となっており、現状に合わせ、最大数にした形に変更した。

普通会员の資格に関する規程について、先ほど提案したスポーツ安全保険をやめる場合、改定する必要があったが、今回継続することが決まったため、この提案は破棄としたい。

②組織図に関して

先ほど提案した総務委員会と競技委員会の変更に加え、現状企画委員会が他の委員会と並列となっていたが、業務の趣旨や内容の関係から理事会と委員会をつなげる形にした。

また、学生役員と事務局の位置に関しても、学生主体であることは変わらないが、一体となって業務遂行するという意味合いもこめ統合する形にした。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第8号議案 2026年日本学生陸上競技個人選手権について

永井専務理事と山下常務理事より、資料に基づき説明があった。

通常開催と変わらないが、競技種目に関して上記に加え天皇賜盃第95回日本学生陸上競技対校選手権大会の種目として男女10000mを実施すると明記した。

来年度の個人選手権について、台湾からエントリーしたいとの連絡があった。日本学連は国際交流を掲げているため、承諾願いたい。ただ奨励金については、日本選手の育成を目的とし、趣旨とは異なるため、対象から外しても良いのではと思っている。ハンマー投の実施場所については調整中である。

競技については、今回はWUGの選考会ではないため、例年通りB決勝を行う。今回の原案について昨年版から、TR4.4について、最終エントリーをした、あるいは予選を通過したにも関わらず棄権をする場合は他の競技の参加を認めないというルールであるが、これは適用しないとしている。

個人選手権の標準記録について、人数制限があるため今回はターゲットナンバーではなく最大出場人数という表記に変更をしている。記録については特段の変更はない。また、男女10000m競歩の標準記録にハーフマラソン競歩の記録を追加した。

続いて個人選手権と同時開催される日本インカレ10000mの要項について、開催期日は未定となっている。出場資格および日本インカレの標準記録につい

ては引き続き継続審議とした。

第9号議案 その他

①2025年度秩父宮章の推薦について

今回推薦する候補についても会長に一任いただきたい。(承認)

②陸上競技研究第139号特別寄稿について

工藤常務理事と金子医事委員がアンチドーピングに関して特別寄稿を掲載。工藤常務理事には工藤常務理事が弁護士として参加したドーピングに関する訴訟事案について、金子医事委員にはクリーンなアスリートを目指してという内容であった。

この論文を139号研究誌に留まることなく、オープン化できないかを検討。基本的にはオープン化することは問題ないとしたが、今後その範囲等、専務理事と工藤理事、安井理事と相談し、詳細について確認することとした。

③強化委員会における委員の追加について

山下常務理事より、強化委員の追加について説明。國學院大學陸上競技部の前田康弘監督を強化委員として追加することを提案。(承認)

《報告事項》

1. 会務報告について

永井専務理事、山下強化委員長より、資料に基づき前回理事会以降の職務報告について報告があった。

2. 世界大学クロスカントリー大会について

山下理事/強化委員長より、資料に基づき世界大学クロスカントリー選手選考について報告があった。2026年3月14日(土)、3月15日(日)にイタリアのカッシーノで行われる世界大学クロカンについて、要項の2番にある選手派遣人数に関して、前回の理事会時にFISUレギュレーションが公開されていなかったため、ペンディングとなっていた。日本学連は、男子10kmに4名、女子10kmに4名派遣することで確定。選考方法等はすでに確認いただいている通り。

3. 各主催駅伝大会について(出場枠)

山下理事より、資料に基づき終了した各主催駅伝大会の来年度の出場枠について報告があった。(永井専務理事)

駅伝について補足したい。出雲駅伝のスタート時間に関して、例年13時10分のスタートとなっているが、熱中症になる選手が多数出てしまっている。出雲市と話合いの中で午前中にスタート時間を移動することに話がまとまったため、後日、フジテレビと交

渉する。

今年の全日本大学女子駅伝では大会3日前に宮城県警から熊出没に関する対策案の提出を求められ、仙台市および仙台市スポーツ振興財団、日本テレビ、読売新聞など関係者間でオンライン会議を行い、対策案を作成した。

全日本大学駅伝開催日に関して、三重陸協から高校駅伝の関係で1週間、後ろ倒しができないかというお願いがあった。私としては熱中症のリスクも軽減できるし、出雲駅伝との間隔をとることもできると思った。全国大会の駅伝日程をずらすことは簡単ではなく、実際に障壁となる事案も複数あるため、来年は11月の1週目で通常開催とし、それ以降2週目開催に移動を目指すという形で考えている。

別件で、第4中継所で一般車両が不適切な割り込みをするという事案が発生した。

広島経済大学が事故に巻き込まれそうになったことから、中四国学連の鶴崎会長から何らかの措置を取ってほしいとの連絡が日本学連事務局に入った。警察が関与する中で、最終的に事故扱いにはならなかったが、昨日開催の駅伝実行委員会、および今理事会において、安全、安心運営を関係者に向け周知することで中四国学連にご理解をいただいた。

4. SMBC プロボノについて【別紙】

河野事務局員より、別紙に基づきSMBCプロボノについて報告があった。

先日、SMBCと日本学連の6カ月に及ぶ共同事業が終了した。プロボノとはボランティアの一種だが、自分の専門知識を生かしたボランティアということが原義であり、実際に三井住友グループで働いている方に参加していただき、今回は競技団体としての資金調達というテーマに関していろいろな知見を持ち寄って、整理したものが本日お配りした資料となる。本日は資料についてかいつまんで説明する。

資料P2に今回のプロボノプロジェクトの支援内容について記載されている。

また現状分析も行っていたが、P7とP8には学生役員や理事の皆さまにも協力いただいたアンケートの結果も掲載している。この中で興味深かった内容が、登録会費の値上げに関して、学生側は仕方がないという意見が多かった半面、理事の方々には慎重な姿勢であったということである。

加えて広報活動に関して、魅力ある大会作りやSNSでの学生発信でいろいろなことを行っていて、Xのフォロワーもかなり大きな数となっているが、

なかなか認知がなされていないということや、理事の皆さまからのアンケートにも大会自体の認知度アップに対しても予算を使ったうえで、営業をかけていくという意見があった。各地区学連の運営にも有意義な意見も多くあると思われるので、ぜひ参考とさせていただきたい。

他には、お金を貰う上で、寄付先という考えから戦略的投資先としていくためにはという議論なども記載されている。

後半では法人協賛以外の資金調達に関しては、私がSMBC様に対して中間時にお願したところ、マーケティングという形ではなく公益法人であることのメリットを生かした寄付や補助金といった資金調達を検討するというファンドレイジングという形で考えたいという話があったので、そのような形で進めたいと考えている。現段階では公益法人として寄付金控除対象であるが、所得控除の段階で税額控除団体になれるようにするため、例えば少額寄付を積み重ねられるような寄付金受け入れのシステムを構築できる団体となっていきたいと考える。アンケートの細かい結果等も資料に載せていただいた。

また、もう1つの資料に関しては、SMBC様に作っていただいた他の団体や企業に向けて日本学連がどのような価値を持っているのか、どのような価値を生み出すことができるかの提案書の例というようなものである。こちらの2点の資料がSMBC様側から最終提案資料として預かったものである。これをもとに我々がブラッシュアップしていきたいと考えている。ぜひご一読いただいた上で意見等ございましたら、事務局へご連絡いただきたい。また、このような資金調達に関する取り組みについてはこれがスタートラインとなるので、今後、理事会の都度、進捗状況を報告できるよう準備を進めていく。

今後については、SMBC様側の提案は終わったので、これに基づいて我々がどのように動くかということになる。また進捗はご報告する。

5. 第71回指導者会議について

永井専務理事より、資料に基づき第71回指導者会議(3月7日開催)について内容説明があった。指導者会議の歴史を振り返り、学生陸上を考察する。

6. <協議事項から報告事項に変更された議題>

箱根駅伝記念大会について日隈理事、大後理事、工藤常務理事より今後の展開について資料に基づき説明があった。

資料

令和8年度公益社団法人日本学生陸上競技連合 学生役員一覧

役職	氏名	フリガナ	大学	学年	地区
幹事長	桑原 悠真	クワハラ ユウシン	東京学芸大学	4	連 合
副幹事長	河本 賀帆	カワモト カホ	東洋大学	3	連 合
常任幹事	村上 奈穂	ムラカミ ナホ	明治大学	4	連 合
常任幹事	露木 彰映	ツユキ ショウエイ	明治大学	2	連 合
常任幹事	八馬 瑚々美	ハチマ ココミ	日本大学	2	連 合
常任幹事	櫻井 航	サクライ ワタル	東北大学	3	連 合
常任幹事	高桑 康平	タカクワ コウヘイ	愛知教育大学	4	連 合
幹事	原口 優芽	ハラグチ ユメ	北海道大学	3	北 海 道
幹事	成田 ことり	ナリタ コトリ	東北学院大学	3	東 北
幹事	新井 瑞己	アライ ミズキ	順天堂大学	4	関 東
幹事	林 桜	ハヤシ サクラ	早稲田大学	3	関 東
幹事	高山 芽生	タカヤマ メイ	日本体育大学	3	関 東
幹事	内田 葵唯	ウチダ アオイ	駒澤大学	4	関 東
幹事	渡辺 夢子	ワタナベ ユメコ	お茶の水女子大学	4	関 東
幹事	吉村美絵子	ヨシムラ ミエコ	信州大学	3	北 信 越
幹事	吉田 剛	ヨシダ ツヨシ	至学館大学	4	東 海
幹事	福原 幹太	フクハラ カンタ	名古屋市立大学	4	東 海
幹事	林 知毅	ハヤシ トモキ	至学館大学	3	東 海
幹事	正井 遥希	マサイ ハルキ	関西大学	4	関 西
幹事	木野 羽月	キノ ハツキ	大阪公立大学	4	関 西
幹事	谷 謙太郎	タニ ケンタロウ	立命館大学	3	関 西
幹事	葉玉 純	ハダマ ジュン	広島大学	3	中 国 四 国
幹事	伊津野 志	イツノ サトシ	九州大学	3	九 州

資料

令和8年度～日本学生陸上競技連合 地区学連申込み正会員の定数

令和7年12月13日 第76回理事会提案

地区	現行	新
北海道	6	6
東北	7	7
関東	23	23
北信越	7	7
東海	9	8
関西	13	13
中国四国	8	9
九州	8	8
地区学連推薦合計	81	81
	(令和8年度改定・新定数)	
学識経験者	54	

(定款)

※地区学連の定数の算出方法は、まず、各地区に5割ずつ割当て、次に残りの41を過去3事業年度の普通会員の数を基にドント方式で割当てるものとする。

※定数の見直しは、設立登記の日以降、4事業年度に1度行うものとする

資料

2026年主要競技大会

■2026年度(令和8年度)主要競技会(予定)

1	2026日本学生陸上競技個人選手権 *2026年は95回日本インカレの暑熱対策として男女10000mを行う。	4月24日(金)～4月26日(日)	平塚市
2	秩父宮賜杯第66回実業団・学生対抗陸上競技大会 天皇賜盃第95回日本学生陸上競技対校選手権大会	6月27日(土)	平塚市
3	*暑熱対策として男女10000mは4月の個人選手権で開催 *男女10000mWは5000mWに変更して開催 *競技場利用日は日産スタジアムの都合で4日間。競技会は3日間で開催予定(9/4:前日準備等)	9月5日(土)～9月7日(月)	横浜日産スタジアム
4	第38回出雲全日本大学選抜駅伝	10月12日(月・祝)	出雲市
5	第44回全日本大学女子駅伝対校選手権大会	10月25日(日)	仙台市
6	秩父宮賜杯第58回全日本大学駅伝対校選手権大会 ナイメーヘン15kmロードレース(オランダ)	11月1日(日) 11月15日(日)	名古屋～伊勢 オランダ
7	2026全日本大学女子選抜駅伝競走(予定)	12月30日(水)(予定)	富士宮～富士
8	第30回日本学生ハーフマラソン選手権大会	2027年2月7日(日)	丸亀市
9	第21回日本学生競歩選手権大会	2027年3月〇日(日)(未定)	能美市
10	第30回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	2027年3月21日(日)(予定)	松江市

■2026年度(令和8年度)主要会議(定時/暫定)

理事会(2025年度事業報告)	5月16日(土)	
第17回定時社員総会	6月20日(土)	役員改選
理事会	6月20日(土)	
理事会	9月4日(金)	
理事会	12月12日(土)	
理事会	2027年3月6日(土)	
第52回学生幹部研修会	3月5日(金)～6日(土)	
第72回指導者会議	3月6日(土)	

20 会議報告

月 日	行事 (報告内容)
9月27日(土)	第75回理事会 オンライン会議
9月30日(火)	第43回全日本大学女子駅伝 実行委員会 於：仙台市
10月6日(月)	日本スポーツ振興センターくじ助成第2四半期報告(陸上競技研究)
10月7日(火)	出雲駅伝/記者クラブ他プレスリリース
10月12日(日)~13日(日・祝)	第37回出雲全日本大学選抜駅伝競走 於：出雲市
10月21日(火)	富士山女子駅伝事務局ミーティング 於：日本学連事務所
10月25日(土)~26日(日)	第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 於：仙台市
10月29日(水)~30日(木)	第57回全日本大学駅伝メンバーエントリー
10月29日(水)	出雲市長上京/懇談 於：J R東海/品川
10月29日(水)	第66回実・学対抗陸上(2026年度)開催日時検討会議 オンライン会議
11月1日(土)~2日(日)	第57回全日本大学駅伝対校選手権大会 於：名古屋/伊勢
11月5日(水)	医事委員会 オンライン会議
11月14日(金)	富士山女子駅伝実行委員会 於：富士市およびオンライン併用
11月18日(火)	指導者会議運営委員会 オンライン会議
11月19日(水)	全日本大学駅伝対校選手権大会日程変更検討会議 オンライン会議
11月20日(木)	富士山女子駅伝事務局ミーティング 於：富士市
11月24日(月)	強化委員会 オンライン会議
11月25日(火)	マーケティング活動(日本学生競歩選手権/澤木顧問同行)
11月26日(水)	SMB Cプロボノに関するオンラインミーティング
11月28日(金)	SMB C2026年度マーケティング活動 於：大手町SMB C本社
11月28日(金)	富士山女子駅伝フジTV/事務局ミーティング オンライン会議
12月1日(月)	第43回全日本大学女子駅伝 実行委員会 於：仙台市
12月1日(月)	富士山女子駅伝チームエントリー
12月2日(火)	第66回実・学対抗陸上(2026年度)開催日時検討会議 オンライン会議
12月4日(木)	出雲駅伝/事務局ミーティング オンライン会議
12月4日(木)	企画委員会 オンライン会議
12月4日(木)	競技委員会 於：日本学連事務所およびオンライン併用
12月5日(金)	富士山女子駅伝チームエントリー/最終確定
12月8日(月)	富士山女子駅伝プレスリリース 於：静岡県庁・他
12月8日(月)	SMB Cプロボノに関するミーティング 於：日本学連事務所
12月10日(水)	日本学生ハーフマラソン選手権 エントリー締め切り
12月12日(金)	第57回全日本大学駅伝対校選手権大会 小委員会 オンライン会議
12月12日(金)	SMB Cプロボノ全体会議 於：大手町SMB C本社
12月13日(土)	令和7年度勲功章贈与式 於：TKP新宿カンファレンスセンター
12月13日(土)	第76回理事会 於：TKP新宿カンファレンスセンター

2026世界大学クロスカントリー選手権大会(イタリア・カッシーノ)
2026 World University Cross Country Championship in Italy, Cassino
日本代表選手選考要項

競技会日程：2026年3月14日(土)、15日(日)

渡航日程：未定

開催場所：カッシーノ／イタリア

1. 編成方針

本大会において入賞が見込まれるとともに、今後の日本長距離界を担うことが期待され、学生トップレベルの競技力を有する競技者で編成する。

2. 選手派遣人数

男子10km：4名 女子10km：4名

3. 選考対象

2025年度日本学生陸上競技連合普通会員のうち、大学3年生以下の者、その他2026年度日本学生陸上競技連合普通会員登録が見込まれる者で、日本国籍を有する者を対象とする。

4. 選考方法(男女共通)

10000m記録上位者 男女4名ずつ

・記録有効期間内に派遣標準記録を突破し、選考意思を示した者の中で、記録上位者男女各4名を選考する。選考意思のある者は、2026年1月7日15時までに、記録を証明できるものを提出して派遣意思を示すこと。(提出先：下記メールアドレス)

・派遣標準記録：男子28分35秒00(10000m)
女子34分00秒00(10000m)

・記録有効期間：2025年1月1日～2025年12月31日まで

※選考意思を示した者が4名に満たなかった場合、強化委員会の推薦によって選手を選考する。

5. その他

代表選手として決定した後でも、本大会までに故障などのために競技力を十分に発揮できないと強化委員会が判断した場合には代表を取り消す。その場合に、エントリー締切前であるときは、別の競技者を代表選手として追加選考することがある。

本選考要項に変更が生じた際は、本連合HP等で告知するので、各自よく確認すること。

【お問い合わせ先】

〒151-0053 公益社団法人日本学生陸上競技連合
東京都渋谷区代々木1-58-11中沢ビル2F
Email: juauj@joy.ocn.ne.jp
担当：桑原、大西、河野

【各地区学連出場枠について】

以下の配分方法により、毎年各地区学連からの出場枠を決定する。

1. 基本枠（8） 各地区学連には、基本枠として1枠ずつを配分する。
2. 成績枠（12） 前年度大会で1位～12位のチームの所属する地区学連の数を出場枠として配分する。
 - （注1）出場枠が1の学連においては、出場資格を「選抜チーム」または「単独校チーム」のどちらかを選ぶことができる。出場枠が2以上の学連においては、「単独校チーム」のみとなる。
 - （注2）ひとつの地区学連の出場枠は最大で10（基本枠・成績枠の合計）とする。出場枠が10を超えた地区学連は、超過分の成績枠を13位のチームの所属する地区学連に譲ることとなる。
 - （注3）今大会においては、アイビーリーグ選抜が12位以内（4位）だったため、関東の超過分を踏まえ、14位のチームの所属する地区学連に成績枠を配分する。

1. 成績枠の配分

第37回大会結果			→	次回 第38回大会出場枠	
1	國學院大學	関東	→	成績枠	関東 1
2	早稲田大学	関東			関東 2
3	創価大学	関東			関東 3
4	アイビーリーグ選抜				
5	駒澤大学	関東			関東 4
6	城西大学	関東			関東 5
7	青山学院大学	関東			関東 6
8	帝京大学	関東			関東 7
9	東洋大学	関東			関東 8
10	中央大学	関東			関東 9
11	東京国際大学	関東			関東10(超過)
12	関西大学	関西			関西 1
13	札幌学院大学	北海道			北海道(関東超過分)
14	信州大学	北信越			北信越(IVY超過分)

2. 第38回大会各地区学連出場枠について

地区	第38回大会			第37回大会出場枠数
	出場枠数	基本枠	成績枠	
北海道	2	1	1	2
東北	1	1	0	1
関東	10	1	9	10
北信越	2	1	1	2
東海	1	1	0	1
関西	2	1	1	2
中国四国	1	1	0	1
九州	1	1	0	1
合計	20	8	12	20

【各地区学連出場枠について】

以下の配分方法により、毎年各地区学連からの出場枠を決定する。

- シード枠(8) 前年度大会で1位～8位に入った大学には、出場シード権を与える。
- 成績枠(9) 前年度大会で9位～17位のチームの所属する地区学連の数を出場枠として配分する。
- 基本枠(6) 成績枠で、枠を獲得できなかった地区に1枠ずつ配分する。残った枠については、5000m6名(当該年度内のタイム)の合計タイムにより出場校を決定する。

(注) その他、大会主催者の認める選抜チームのオープン参加を認める場合がある。

1. シード枠及び成績枠の配分について

第43回大会結果			次回	第44回大会出場枠	
1	城西大学	関東	シード枠	城西大学	
2	大東文化大学	関東		大東文化大学	
3	名城大学	東海		名城大学	
4	東北福祉大学	東北		東北福祉大学	
5	立命館大学	関西		立命館大学	
6	大阪学院大学	関西		大阪学院大学	
7	筑波大学	関東		筑波大学	
8	福岡大学	九州		福岡大学	
9	順天堂大学	関東	成績枠	関東1	
10	日本体育大学	関東		関東2	
11	玉川大学	関東		関東3	
12	帝京科学大学	関東		関東4	
13	関西大学	関西		関西1	
14	拓殖大学	関東		関東5	
15	大阪芸術大学	関西		関西2	
16	駿河台大学	関東		関東6	
17	関西外国語大学	関西		関西3	

2. 第44回大会各地区学連出場枠について

地区	第44回大会					第43回
	計	シード枠	成績枠	基本枠 (5000m6名の 合計タイム)	基本枠	
北海道	1	0	0	1	2	1
東北	2	1	0	1		2
関東	9	3	6	0		10
北信越	1	0	0	1		1
東海	2	1	0	1		2
関西	5	2	3	0		4
中国四国	1	0	0	1		1
九州	2	1	0	1		1
合計	23	8	9	6		2

※上記の結果から、第44回大会のシード枠以外の各地区学連からの出場枠は次の通り、北海道1、東北1、関東6、北信越1、東海1、関西3、中国四国1、九州1となる。
さらに、すべての地区を対象として5000m6名(当該年度内のタイム)の合計タイムから上位2校を選出する。ただし、選考の対象となるのは各地区選考会にエントリーした大学に限る。
また、対象となる記録は来年度の大会要項に掲載される。シード枠、成績枠、基本枠で出場校の数が満たない場合は5000m6名の合計タイムの枠に回す。

【各地区学連出場枠について】

以下の配分方法により、毎年各地区学連からの出場枠を決定する。

1. シード枠(8) 前年度大会で1位～8位に入った大学には、出場シード権を与える。
2. 基本枠(8) 各地区学連には、基本枠として1枠ずつを配分する。
3. 成績枠(9) 前年度大会で9位～17位のチームの所属する地区学連の数を出場枠として配分する。

(注1) ひとつの地区学連の出場枠は最大で15(シード枠・基本枠・成績枠の合計)とする。

出場枠が15を超えた地区学連は、超過分の成績枠を18位のチームの所属する地区学連に譲ることとなる。

(注2) その他、大会主催者の認める選抜チームのオープン参加を認める場合がある。

1. シード枠及び成績枠の配分について

第57回大会結果			次回	第58回大会出場枠	
1	駒澤大学	関東	シード枠	駒澤大学	
2	中央大学	関東		中央大学	
3	青山学院大学	関東		青山学院大学	
4	國學院大學	関東		國學院大學	
5	早稲田大学	関東		早稲田大学	
6	帝京大学	関東		帝京大学	
7	創価大学	関東		創価大学	
8	順天堂大学	関東		順天堂大学	
9	城西大学	関東	成績枠	関東1	
10	日本大学	関東		関東2	
11	日本体育大学	関東		関東3	
12	東海大学	関東		関東4	
13	大東文化大学	関東		関東5	
14	立教大学	関東		関東6	
15	中央学院大学	関東		関東(超過)	
16	関西大学	関西		関西1	
17	大阪経済大学	関西		関西2	
18	関西学院大学	関西		関西(関東超過分)	

2. 第58回大会各地区学連出場枠について

地区	第58回大会				第57回
	計	シード枠	基本枠	成績枠	
北海道	1	0	1	0	1
東北	1	0	1	0	1
関東	15	8	1	6	15
北信越	1	0	1	0	1
東海	1	0	1	0	2
関西	4	0	1	3	3
中国四国	1	0	1	0	1
九州	1	0	1	0	1
合計	25	8	8	9	25

資料

第71回指導者会議について

- テーマ：指導者会議のこれまでとこれから
 主催：公益財団法人 日本学生陸上競技連合
 目的：指導者会議は今回で第71回を迎え、長い歴史と伝統を誇る会議となった。今回の指導者会議では、これまで議論の組上に載せられてきたテーマを振り返り、その変遷や社会的背景について、史学的観点から筑波大学体育系の大林先生にご講話を賜る。また、永井専務理事には、生き証人として当時の具体的なご経験や思い出を語っていただく予定である。「温故知新」の精神のもと、指導者会議の歩みを振り返りつつ、これからの指導者会議の在り方について、参加者一同で議論を深めていきたい。
- 開催方式：対面とオンラインのハイブリッド方式
 日時：令和8年3月7日(土曜日)
 15:00～15:15 受付
 15:15～15:20 開会挨拶(松本会長) 趣旨説明(木越清信)
 15:20～15:50 大林 太郎(筑波大学 体育系) 70回の指導者会議を振り返って
 15:50～16:20 永井 純(専務理事) 指導者会議への思い
 16:20～16:50 ディスカッション
 16:50～17:00 まとめ(船原 勝英 倫理委員委員長 指導者運営委員会 委員)
 閉会挨拶(永井専務理事)

資料

天皇賜盃第95回日本学生陸上競技対校選手権大会 10000m 開催要項

- 開催期日：2026年4月●日(日) ※2026日本学生陸上競技個人選手権大会●日
 会場：レモンガススタジアム平塚
 競技種目：男子10000m、女子10000m ※本大会はWRK申請大会となります。
 参加資格：1. 2026年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員であって、以下のいずれかに該当する者。
 ①2025年1月1日(日)から2026年3月22日(日)の期間のA標準記録突破者(A資格)、B標準記録突破者(B資格)。
 ※ただし、C資格(下記②)を含む申込者数が最大出場人数を超過する場合は、C資格を含む出場人数が最大出場人数以内となるよう、A資格・B資格のうち記録上位者の出場を認める。その際、資格記録における種目間の比較はWAのリザルトスコアを用いる。
 ②2025年度の北日本インカレ・西日本インカレの優勝者(C資格)は、持ち記録に関わらず出場可とする。
 2. A資格は各校3名まで、B資格は各校1名でA資格と合計して3名まで(なお、C資格での出場者がいる大学のB資格の出場は不可とする。)C資格はA資格と合計して各校3名までとする。
 以上の結果、各校の参加人数の組合せは、以下のとおりとなる。

参加人数	組合せ		
1名	A	B	C
2名	A A	B A	C A
3名	A A A	B A A	C A A

- 参加料：参加者1種目1名につき3500円
 ※参加料は、理由の如何にかかわらず、返金しない。
 申込方法：2026日本学生陸上競技個人選手権大会のエントリーサイトから10000mを選択して申し込むこと。
 表彰：1. 各種目第1位から第3位までの入賞者には賞状、メダルを、第4位から第8位までの入賞者には賞状を授与する。
 2. 得点方法は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とし、9月開催の大会に得点を加算する。
 その他：ドーピングコントロール、個人情報の取り扱い、競技中に発生した傷害や疾病等については、2026日本学生陸上競技個人選手権大会要項を参照すること。

問合せ先 公益社団法人日本学生陸上競技連合 事務局
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階
 Eメール：juauj@joy.ocn.ne.jp

資料

2026日本学生陸上競技個人選手権大会要項 2026All Japan University Track&Field Challenge Meeting

1. 主催 公益社団法人日本学生陸上競技連合
 2. 後援 平塚市、平塚市教育委員会
 3. 運営協力 一般財団法人神奈川陸上競技協会、一般社団法人関東学生陸上競技連盟
 4. 協賛 未定
 5. 期日 2026年4月24日(金)～26日(日)
 6. 会場 レモンガススタジアム平塚(ハンマー投：調整中)
 7. 競技種目 男子18種目 100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH、400mH、3000mSC、10000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投
 女子18種目 100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、100mH、400mH、3000mSC、10000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投
 ※上記に加えて、天皇賜盃第95回日本学生陸上競技対校選手権大会の種目として、以下の種目を実施する。(別紙大会要項参照)
 男子10000m、女子10000m
 ※本大会はWRK申請大会となります。
 8. 競技日程 本連合HPおよび大会プログラムに掲載する。
 9. 参加資格 1) 2026年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員であって、2025年1月1日(日)から2026年3月22日(日)の期間に標準記録を突破している者。
 2) 出場を希望する国外の大学生で本連合の承認を得た者。

- ※各大学1種目あたりの参加人数制限は設けない。 ※個人の参加種目数の制限は設けない。
 ※一部の種目に最大出場人数を定める。
10. 参加料 参加者1種目1名につき3500円
 ※参加料は、理由の如何にかかわらず、返金しない。
11. 申込方法 本競技会は日本陸連のエントリーシステムを使用する。参加者は、日本学連HPに掲載されるエントリーシステムから必要事項を入力し、2026年3月16(月)から2026年3月29日(日)23:59までの期間に日本学連へ申し込むこと。また、参加料はエントリー確認メールに記載された手順に従い、納入すること。
12. 競技について 1) 競技は2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。なお、広告規定は全て国内規程にて実施する。
 2) 競技に使用する用具は主催者側が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールおよび投てき物は個人所有のものが使用できるが、投てき物は検査を受け、許可されたものとする。
 3) 男女100m、200mおよび男子110m H、女子100m HにおいてB決勝を実施する。
13. 式典 開式：4月24日(金) 競技開始前 閉式：4月26日(日) 競技終了後
14. 表彰 1) 各種目第1位から第3位までの入賞者には賞状、メダルおよび副賞として奨励金を、第4位から第8位までの入賞者には賞状を授与する。奨励金授与は日本学連普通会員を対象とする。
 2) 決勝・B決勝を実施する場合には記録の如何に関わらず決勝の順位が優先される。
15. ドーピングコントロール
 1) 本競技会は、ワールドアスレティクス(WA)アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会(時)ドーピング検査対象大会である。競技会(時)検査は、大会前日23時59分から検査が終了するまでの期間であり、尿または血液(あるいは両方)の採取が行われる。検査の対象に選ばれた該当者は、検査員の指示に従って検査を受けること(競技/運動終了から2時間の安静後に採血が行われることもあるので留意すること)。日本陸上競技連盟に登録していない外国人競技者も同様に従うこと。
 2) 競技会(時)検査の対象となった場合、原則として顔写真付きの身分証明書が必要となる。大会のIDカードやナンバーカードとともに、顔写真のついた学生証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートのコピーなどを持参すること。
 3) 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。したがって、本競技会参加者はドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。また本競技会においては、希望者が自由に参加可能な「アウトリーチ・プログラム」を実施し、アンチ・ドーピングについて学ぶことのできる機会を設けるので、ふるって参加されたい。
 4) 本競技会参加者は、JADAクリーンスポーツ・アスリートサイト(https://www.realchampion.jp)などを利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習しなければならない。また本競技会においては、希望者が自由に参加可能な「アウトリーチ・プログラム」を実施し、アンチ・ドーピングについて学ぶことのできる機会を設けるので、ふるって参加されたい。
 5) TUE申請
 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は「治療使用特例(TUE)」の申請を行わなければならない。詳細は、日本陸上競技連盟医事委員会HP(https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/)または日本アンチ・ドーピング機構のHP(https://www.realchampion.jp/resources/000162.html)および本連合HP(https://www.uauj.jp/index.html/)内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識2026年版」を確認すること。禁止物質・禁止方法についてTUEが付与されている場合には、その証明書(コピーで可)をドーピング検査の担当検査員へ提出すること。
16. 個人情報の取り扱いについて
 1) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者が承認した第三者が、大会運営および宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。大会の映像は、主催者の許可なく、第三者がこれを使用すること(インターネット上において画像や動画を配信することを含む)を禁止する。
 2) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成並びに作成、記録発表、公式HPその他競技運営および陸上競技に必要な連絡等に利用する。
17. その他
 1) 本競技会は、スポーツ振興基金助成金を受けて実施する。
 2) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側において行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、9.参加資格1)の該当者は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。
18. 問合せ先 公益社団法人日本学生陸上競技連合 事務局
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階 Eメール:juauj@joy.ocn.ne.jp

2026日本学生陸上競技個人選手権大会 標準記録

男子			女子		
種目	標準記録	最大出場人数	種目	標準記録	最大出場人数
100m*	10.45		100m*	12.00	
200m*	21.10		200m*	24.80	
400m*	47.40		400m*	56.50	
800m	1.51.00		800m	2.12.50	
1500m	3.47.50		1500m	4.29.00	
5000m	13.47.00	40	5000m	16.10.00	35※
110mH*	14.25		3000m	9.20.00	5※
400mH*	51.60		※2026年度新入生のみ		
3000mSC	8.55.00	20	3000mSC	10.50.00	20
10000mW	10000mW 42.30.00	35	10000mW	10000mW 51.30.00	35
	10kmW 42.30			10kmW 51.30	
	20kmW 1.28.00			20kmW 1.46.00	
	ハーフマラソンW 1.34.00			ハーフマラソンW 1.53.00	
走高跳	2.11		走高跳	1.70	
棒高跳	5.20		棒高跳	3.80	
走幅跳	7.55		走幅跳	5.85	
三段跳	15.40		三段跳	12.30	
砲丸投	15.05		砲丸投	13.30	
円盤投	47.00		円盤投	43.30	
ハンマー投	61.00		ハンマー投	54.20	
やり投	68.50		やり投	49.70	

(注)
 ・最大出場人数を定めている種目は参加人数制限を行い、資格記録上位者から出場を認める。なお、10000mWおよび日本学生陸上競技対校選手権大会10000mについては、WAスコアリングテーブルを用いて資格記録の種目間比較を行い、上位者から出場を認める。
 ・「*」を付した種目については、電気計時による記録のみ有効とする。「*」を付した種目以外で手動計時による記録を使用したい場合、100分の1を切り捨てる。つまり、1分50秒30は1分50秒3と読み替える。
 ・天皇賜盃第95回日本学生陸上競技対校選手権大会10000mの出場資格については、大会要項をよく確認すること。

※
 女子5000mは2026年度新入生に限り3000mの標準記録を定める。また、3000mと5000mのいずれかにおいて最大出場人数を超過した場合は、合計40名に達するまで資格記録上位者から出場を認める。
 例：3000m2名、5000m40名のエントリーの場合
 3000m2名および5000m資格記録上位者38名の出場を認める。

天皇賜盃第95回日本学生陸上競技対校選手権大会 10000m 標準記録

男子				女子			
A資格	B資格	C資格	最大出場人数	A資格	B資格	C資格	最大出場人数
28.35.00	29.05.00	2025年度北日本IC	40	34.00.00	34.40.00	2025年度北日本IC	40
5000m 13.45.00	5000m 13.55.00	西日本IC 優勝者		5000m 16.05.00	5000m 16.20.00	西日本IC 優勝者	

【会議報告】

令和8年学生役員会議

常任幹事 露木 彰映

1. 会議名：令和8年学生役員会議
2. 期 日：2025年12月13日(土)
3. 場 所：TKP新宿カンファレンスセンター@カンファレンスルーム6B
4. 派遣学生幹事(敬称略)

桑原 悠真、村上 奈穂、河本 賀帆、露木 彰映、
八馬 瑚々美、原口 優芽、登内 遼、成田 ことり、
舟越 ゆな、新井 瑞己、林 桜、吉村 美絵子、
漆原 幹人、吉田 剛、福原 幹太、林 知毅、
正井 遥希、木野 羽月、葉玉 純、成松 泉輝、
伊津野 志、佐藤 陽太 計22名

5. 総 括

本会議では各地区学連の新幹部役員が集まり、来年度の学連活動における大会や事務関係の説明を行いました。本連合の年度末は3月31日ですが、4年生の学生役員の活動は後輩への引継ぎの関係で、基本的には12月31日をもって終了となります。1月からスタートする令和8年の新学生役員が集まり、日本学連主催大会についての確認事項や、新年度の学連登録、競技会の開催申請などについて各担当者から説明を行いました。

また、理事会後には理事・学生等を交えた役員懇親会が例年通り行われ、令和6年、令和7年に日本学連で幹事長を務めた三浦幹事長をはじめ、卒業予定の学生役員に記念品が贈呈されました。卒業する学生役員からは学連活動を通じた思い出や感謝の言葉などが述べられ、会場は拍手に包まれました。

【会議報告】

1. 令和8年の学生役員について
次年度4年生の桑原悠真が幹事長に推薦され、理事会に提案されることとなりました。
(令和8年学生役員一覧は理事会資料として別項掲載)
2. 事務手続きについて
年度初めに必要な正会員名簿や功労章推薦書など、書類の提出を各地区学連に説明し依頼しました。
3. 令和8年2月～3月の日本学連主催・共催競技会について
令和8年の2月から3月に行われる本連合主催・共催競技会4大会について、エントリー等の事務

作業についての説明を行いました。

4. B級審判員資格所得について
各地区学連が開催される講習会を経て取得可能であるB級審判員資格について、取得までの流れや手続きなどに関して説明を行いました。
5. 普通会員登録・スポーツ安全保険について
基本の学連登録作業とスポーツ安全保険の適応について説明を行いました。大学院や分校の扱いに注意し、登録会員を1人も取りこぼすことがないように登録業務の重要性を再確認いたしました。
6. 公認競技会申請とWRk申請及び記録公認申請について

来年度の公認競技会申請について、申請方法の周知や注意事項の徹底を促しました。記録公認申請に関しては今年から電子申請のみとなることなど、新たな運用になることを説明し、申請漏れがないように日本学連と各地区学連間の連携を強化していくことを再確認しました。

令和7年の医事委員会の活動報告

(公社) 日本学生陸上競技連合 医事委員長 蒲原 一之

令和7年の医事委員会の活動について報告します。医事委員会は医事部、トレーナー部、アンチ・ドーピング部から成っています。それぞれの部が協力し合い、主催競技会での救護活動や、アンチ・ドーピングについての教育・啓発活動を行っています。

(1) アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動

最近の5年間における日本国内でのドーピング検査において、違反が問われたケースの半数近くを陸上競技が占めてしまいました。学生競技者は少ないものの、ドーピング検査を実施すること以上に、アンチ・ドーピングに関する知識を広めるための教育・啓発活動が重要であると考えています。そのために医事委員会では3つの取り組みを行いました。

①アウトリーチプログラム

アンチ・ドーピングに関する情報を提供し、アンチ・ドーピングに対する正しい知識と理解を深めるために、競技会場等にブースを構えてイベント(アウトリーチプログラム)を開催しています。このプログラムでは教育・啓発活動の対象を広く設定しており、大会出場者のみならず、応援の学生や観客、保護者、コーチなども参加が可能となっています。令和7年は日本インカレと日本学生個人選手権大会において行いました。禁止物質に関してクイズ形式で案内するなど、工夫をこらした紹介が行われています。

アウトリーチプログラムは、競技者や観戦の学生など多くの方々には有効な情報を提供できるチャンスであると考えていますので、今後も継続して情報提供を行っていきたく考えています。

②「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識」の発行

アンチ・ドーピングの規則で定められている禁止物質については、毎年見直され、変更があります。その年の1月1日から適用される「禁止表国際基準」が世界アンチ・ドーピング機構(WADA)から毎年発行されていますが、これを見ても、ある薬を実際に服用するときに「この薬を服用しても大丈夫なのか?」ということ判断するのは医師や薬剤師でも難しく、ましてやアスリートが自分で判断するのは至難の業です。比較的わかりやすく、詳しく書かれたものには、日本陸上競技連盟発行の「クリーンアスリートをめざして」や、日本薬剤師会等が作成する「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」などがあり

ますが、いずれも毎年新しくなる規則の適用開始日(1月1日)に間に合うようには発行されておらず、最新の情報が得られないところに難点があります。本連合医事委員会では毎年「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識」を改訂して発行し、12月末までにホームページ上で閲覧できるように努力しています。

③アンチ・ドーピングに関するオンライン研修会の開催

3月25日に、スポーツファーマシストであり、日本学連の医事委員アンチ・ドーピング部員である對崎利香子先生を講師に、オンラインで研修会を開催しました。参加して下さった方々には好評のようですが、参加者数が少なかったため、より多くの方に参加していただけるように対策を検討中です。

(2) 競技会での救護活動

競技会での救護活動に関しては、医事委員会の医事部員を中心に、医師を競技役員として派遣し、学生トレーナーと協力して活動しています。各大学の学生トレーナーは、自大学の競技者のサポートをするのみならず、競技会全体の救護活動を行うために各大学から数名ずつ出し合って、医事委員会トレーナー部員の監督、指導のもとで、大学間の垣根を越えて協力し合って活動しています。

これからも、学生競技者のために少しでもお役に立てるように努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

令和7年 日本学生陸上競技連合 会員について(2025年度)

正会員 135名 普通会員 20,767名 賛助会員 16名

日本学生陸上競技連合 普通会員の各月変遷 単位：人

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中四国	九州	月合計
年度前	343	630	5,506	689	1,377	3,044	1,237	1,043	13,869
4月	257	193	2,335	264	78	299	361	422	4,209
5月	21	73	671	155	225	383	124	115	1,767
6月	15	29	123	31	86	96	63	51	494
7月	8	2	106	19	23	41	43	10	252
8月	5	3	45	1	2	13	13	6	88
9月	1	3	27	7	1	8	8	4	59
10月	0	1	16	0	3	1	1	14	36
11月	0	1	5	0	5	8	1	1	21
12月									0
1月									0
2月									0
退会者			-10		-3	-13	-1	-1	-28
合計	650	935	8,824	1,166	1,797	3,880	1,850	1,665	20,767

前回理事会（9/27）20,712名（8月末集計分）→

増員数 55名

【参考：普通会員数の推移】 令和7年11月30日現在

単位：人

年度	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国四国	九州	合計	前年比	5年前比	10年前比
2025	650	935	8,824	1,166	1,797	3,880	1,850	1,665	20,767	898 ↑	2,593	677
2024	651	910	8,480	1,059	1,703	3,642	1,796	1,628	19,869	372 ↑	-427	413
2023	644	954	8,282	1,002	1,649	3,654	1,776	1,536	19,497	580 ↑	-1,245	923
2022	597	854	8,046	942	1,639	3,580	1,735	1,524	18,917	352 ↑	-1,866	743
2021	560	890	7,883	915	1,667	3,517	1,654	1,479	18,565	391 ↑	-2,132	687
2020	556	896	7,704	914	1,610	3,419	1,600	1,475	18,174	-2,122 ↓	-1,916	933
2019	702	979	8,373	996	1,938	3,764	1,787	1,757	20,296	-446 ↓	840	3,444
2018	726	1,017	8,487	1,024	2,073	3,808	1,832	1,775	20,742	-41 ↓	2,168	4,085
2017	749	973	8,588	1,009	2,098	3,758	1,853	1,755	20,783	86 ↑	2,609	4,450
2016	756	933	8,578	1,009	2,088	3,689	1,884	1,760	20,697	607 ↑	2,819	4,483
2015	705	943	8,221	1,021	2,007	3,547	1,904	1,742	20,090	634 ↑	2,849	4,269
2014	680	929	7,981	965	1,936	3,507	1,843	1,615	19,456	882 ↑	2,604	4,230
2013	628	914	7,547	903	1,835	3,383	1,781	1,583	18,574	400 ↑	1,917	3,991
2012	640	910	7,273	832	1,826	3,360	1,736	1,597	18,174	296 ↑	1,841	3,969
2011	711	933	7,065	834	1,756	3,236	1,723	1,620	17,878	637 ↑	1,664	3,929
2010	688	919	6,792	821	1,686	3,106	1,653	1,576	17,241	389 ↑	1,420	3,374
2009	715	878	6,641	879	1,611	3,000	1,630	1,498	16,852	195 ↑	1,626	2,920
2008	754	952	6,626	822	1,480	2,923	1,598	1,502	16,657	324 ↑	2,074	
2007	651	977	6,497	799	1,426	2,870	1,520	1,593	16,333	119 ↑	2,128	
2006	651	1,005	6,452	743	1,493	2,829	1,471	1,570	16,214	393 ↑	2,265	
2005	636	1,041	6,258	763	1,429	2,728	1,441	1,525	15,821	595 ↑	1,954	
2004	599	984	6,118	751	1,321	2,605	1,410	1,438	15,226	643 ↑	1,294	
2003	587	885	5,864	749	1,257	2,519	1,311	1,411	14,583	378 ↑		
2002	604	841	5,663	755	1,184	2,478	1,259	1,421	14,205			

令和7年度オフィシャルパートナー (12月31日現在)

公益社団法人日本学生陸上競技連合はご覧のオフィシャルパートナーの皆様にご支援いただいております。
心より感謝申し上げます。

三井住友フィナンシャルグループ	株式会社明治
株式会社ヤクルト本社	ミズノ株式会社
株式会社修和	株式会社メッセホールディングス
マツト株式会社	株式会社ジールコミュニケーションズ
日興日本語学院	興和株式会社
株式会社ティーズフューチャー	

令和7年度 賛助会員 (12月31日現在 五十音順、敬称略)

ご入会ありがとうございました

浅見美弥子 阿保 雅行 安藤 好郎 石黒 成彬 入江 毅 金子今朝秋 黒岩 重幸 小池 七郎
河野 洋平 櫻井 孝次 田中 淳浩 豊岡 示郎 東川 安雄 藤井 邦夫 藤田 幸雄 山崎 健

この法人の目的及び活動に賛同し賛助する個人又は団体の方は、是非ご検討ください。

〈年会費〉 賛助会員 ¥10,000 (1口)

※年会費は毎年納入していただく必要があります、年度内(3月31日)まで有効となります。

※本法人への賛助会費は寄付として扱われ、所得税等の納税控除の対象となります。

〈特典〉 ・会報への氏名・団体名の記載

・天皇賜盃日本学生陸上競技対校選手権大会への無料入場

【発行所】公益社団法人 日本学生陸上競技連合 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階
TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

編集後記

会報第174号発刊以降の事業では、令和7年10月13日(月・祝)に第37回出雲全日本大学選抜駅伝が出雲市内でのコースで開催されました。第1区・青木選手、第2区・尾熊選手、第3区・野中選手、第4区・辻原選手、第5区・高山選手、第6区・上原選手とつないだ國學院大学が優勝しました。令和7年10月26日(日)に第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会が仙台市内でのコースで開催されました。第1区・本間選手、第2区・兼子選手、第3区・大西選手、第4区・石川選手、第5区・本澤選手、第6区・金子選手とつないだ城西大学が優勝しました。令和7年11月2日(日)に第57回秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会が熱田神宮～伊勢神宮を結ぶコースで開催されました。第1区・小山選手、第2区・谷中選手、第3区・埴山選手、第4区・安原選手、第5区・伊藤選手、第6区・村上選手、第7区・佐藤選手、第8区・山川選手とつないだ駒澤大学が優勝しました。MVPには第5区で区間新記録の走りでの優勝を引き寄せた駒澤大学の伊藤着唯選手が選ばれました。執筆時点では、12月30日予定の2025全日本大学女子選抜駅伝(富士山女子駅伝)は開催を待つところです。

令和7年12月13日(土)には次の各地区連盟の中心となる学生幹事の諸君が集合し、日本学連への事務手続き、心得などの伝達が行われました(学生役員会議)。次の日本学連幹事長には桑原悠真(東京学芸大学)が推薦されました。

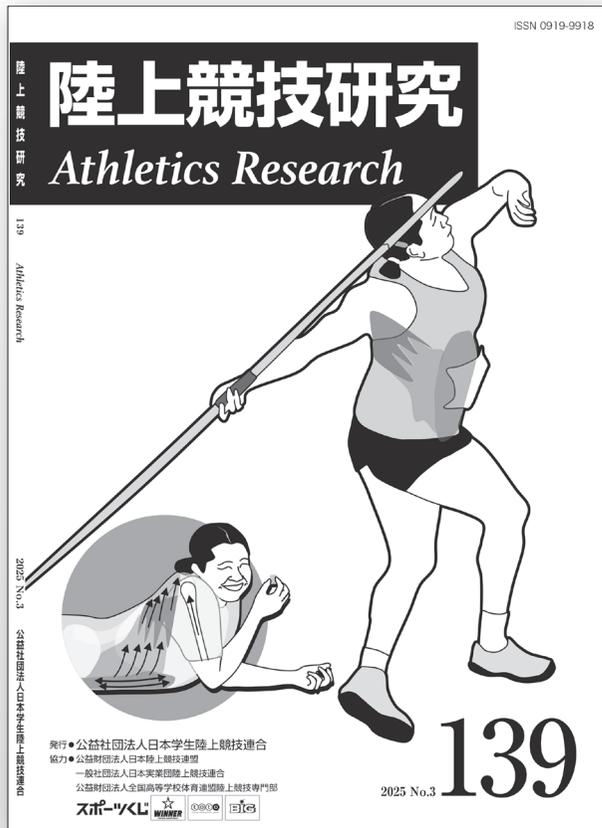
その後、理事会開催に先立って日本学連勲功賞の伝達式が行われました。この賞の対象となる選手は、オリンピック、世界選手権での入賞者、ワールドユニバーシティゲームズ(WUG)の金メダル獲得者になります。今回はWUG男子20km団体で金メダルを獲得した土屋温希選手(立命館大学)、原圭佑選手(京都大学)、吉迫大成選手(東京学芸大学)、男子110mハードルの阿部竜希選手(順天堂大学)、男子ハーフマラソンの個人で金メダルを獲得した工藤慎作選手(早稲田大学)、男子ハーフマラソン団体での金メダルは工藤選手、上原琉翔選手(國學院大学)、馬場賢人選手(立教大学)、女子ハーフマラソン団体での金メダル土屋舞琴選手(立命館大学)、野田真理耶選手(大東文化大学)、前田彩花選手(関西大学)が表彰されました。

その後、第76回理事会が開催され、本年度普通会員数、正会員の定数、令和8年度主要事業日程、令和8年度学生役員候補者、スポーツ安全保険、規定の改定などが審議され承認を得ました。主な競技日程は日本学連ホームページでリリースされるのでそちらをご覧ください。

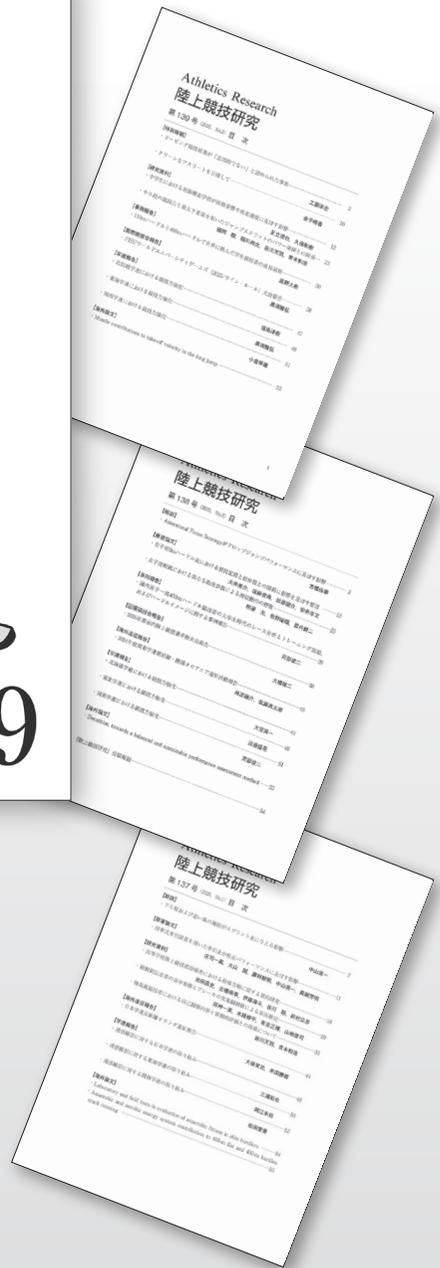
以上が前号からの事業報告および編集後記になります。今後とも粛々と、令和7年度の事業計画を進めていくつもりです。今後とも進展と向上を目指したいと存じます。

(副会長/専務理事 永井 純)

「陸上競技研究」購読のご案内



第 139 号
2025, No.3
2025 年 10 月発行



公益社団法人 日本学生陸上競技連合は機関研究誌『陸上競技研究』を発行しています。購読会員として入会ご希望の方は、年会費 (6,000 円) を下記へ郵便振替にてご送金ください。

口座記号番号 00190-4-142923

加入者名 (株)陸上競技社 陸上競技研究

通信欄に「何号から 1 年間」と必ず明記してください。
バックナンバーについては(株)陸上競技社 (Tel.03-5215-8881) にお問い合わせください。
※第140号 (2026, No 1) は2026年 2月発行予定です。